

**令和6年度
相模原市図書館事業評価**

令和8年1月 相模原市立図書館

目次

I	相模原市図書館事業評価について	1
II	令和6年度図書館事業評価	5
	1 成果指標の実績値	
	2 基本的な統計の実績値	
	3 各図書館による自己点検・評価	
	3-1 市立図書館・図書館相武台分館	
	3-2 相模大野図書館	
	3-3 橋本図書館	
	4 内部評価	
	5 外部評価	
	資料編	31
	1 第2次相模原市図書館基本計画「第6章 計画の推進に向けて」	
	2 利用者アンケート	
	3 各委員の意見	

I 相模原市図書館事業評価について

1 図書館事業評価の目的

図書館法及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年 12 月 19 日文科科学省告示第 172 号）」に基づき、図書館の運営状況に関する評価を行い運営の改善を図るとともに、運営の状況に関する情報を積極的に提供することを目的とする。

2 相模原市図書館事業評価について

図書館事業評価の目的に基づき、第 2 次相模原市図書館基本計画（以下、「計画」という。）の進行管理として、毎年評価を実施する。

各図書館が自己点検・評価として、成果指標及び基本的な統計数値について検証するとともに、主な取組やその成果等を記述する。各図書館の自己点検・評価を踏まえ、全体の内部評価及び外部評価を行い、総合的に当該年度の成果を評価する。

3 評価者について

計画の第 6 章に定める成果指標及び進行管理において、図書館による内部評価と図書館協議会による外部評価を実施することとしていることから、職員による内部評価を行うとともに、第三者による客観的な評価として、有識者や市民公募委員等から構成される図書館協議会から外部評価を受ける。

4 利用者アンケートについて

成果指標の一つである利用者の満足度を測定するとともに、広く利用者の意見を伺い運営の改善等に生かすため、毎年利用者アンケートを実施する。アンケートは各図書館及び公民館等図書室（1 年に各区 2 室程度、交代で実施）で配布するほか、Web でも行う。

5 評価方法について

評価内容を定性的に記述することに加え、計画の進捗状況を客観的に判断する目安として、全体の内部評価及び外部評価について、次のとおり段階評価を行う。

（令和 4 年度第 3 回相模原市立図書館協議会で承認）

(1) 内部評価

成果指標の達成項目及び施策の取組状況を点数化し、双方の総合点で A～D を評価

項目	評価方法	評価及び点数
総合評価	「成果指標の達成項目」の点数 + 「施策の取組状況」の点数の合計点で評価	A：目標どおりの成果が得られた (80～100点) B：概ね目標どおりの成果が得られた (50～79点) C：成果は得られたが、改善の余地がある (20～49点) D：成果が得られなかった (0～19点)
成果指標の達成項目	成果指標 10 項目(p.5～6)に対する令和 9 年度目標値の達成に向け、目標値から算出した各年度の評価基準値を設定し、達成項目数で評価 ※実績値≥評価基準値で「達成」と判断	A：8～10 項目達成 (60 点) B：5～7 項目達成 (30 点) C：1～4 項目達成 (15 点) D：達成なし (0 点)
施策の取組状況	計画に定める、4つの基本目標に紐づく 73 の主な施策(p.19～22)について、目標達成に向けた取組を行った施策の数を基に基本目標単位で点数化し、定量的に評価※ ※詳細は、「施策の取組状況の評価について」を参照	A：目標通り達成 (40 点) B：概ね目標通り達成 (20 点) C：目標以下 (10 点)

※施策の取組状況の評価について

1 基本的な考え方

- ・ 第2次図書館基本計画の構成に沿って、①主な施策➡②施策の方向➡③基本目標➡④取組全体の4つの過程がある。
- ・ 各過程で定量的に実施状況を測定し、最終的な点数を施策の取組状況としての点数とする。
- ・ 各施策は単年度で完結するものではないことから、各図書館いずれかで施策に係る事業を実施し、計画の最終年度に向けて取り組んでいると判断できた場合に「実施」とする。

2 定量的な測定の考え方

(1) 主な施策レベル

73 の主な施策について、実施状況を点検する。

(2) 施策の方向レベル

2～8 つの主な施策の実施数によって実施状況を 3 段階で評価し、点数化する。

主な施策の実施状況	評価	配点
8 割以上～10 割実施	◎	3
5 割以上～8 割未満実施	○	2
5 割未満実施	△	1

(3) 基本目標レベル

3～5 つの各施策の方向の合計点を 3 段階で評価し、点数化する。

各施策の方向の得点の合計 (9 点～15 点満点)	評価	配点
満点中 8 割以上～10 割の得点	a	3
満点中 5 割以上～8 割未満の得点	b	2
満点中 5 割未満の得点	c	1

(4) 取組全体レベル

4 つの基本目標の合計点を 3 段階で評価し、取組全体の評価と総合点を決める。

各基本目標の得点の合計 (12 点満点)	評価	総合評価内容	総合点
10～12 点	A	目標を達成できている	40
5～9 点	B	概ね目標を達成できている	20
4 点以下	C	目標を下回っている	10

(2) 外部評価

内部評価や各委員のご意見を踏まえ、内部評価の段階評価が妥当か協議し評価

A：目標どおりの成果が得られた

B：概ね目標どおりの成果が得られた

C：成果は得られたが、改善の余地がある

D：成果が得られなかった

6 用語について

「Ⅱ 令和5年度図書館事業評価」において、事業の実施主体を表す言葉として次の用語を用いる。

- ・ 「各図書館」：市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館及び相武台分館の4館
- ・ 「公民館等図書室」：23の公民館図書室と串川ひがし地域センター図書室、青野原図書室をあわせた25室
- ・ 「全館」：各図書館及び公民館等図書室

※ 上記以外で、複数の施設や個別の施設で実施した事業については、実施施設の名称を記載する。

7 各年度の開館日数について

令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、本市においても新型コロナウイルス感染症相模原市対策本部が廃止されて以降、図書館では引き続き基本的な感染対策を実施しながら、概ね通常どおりのサービス提供を行ってきた。

令和6年度は、令和7年2月13日から2月25日までシステム機器更新のため臨時休館を行ったことから、図書館3館及び相武台分館では前年比で12日間、公民館等図書室は2日間、開館日数が減少した。

参考：各年度の開館日数（日）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市立図書館	240	291	291	292	280
相模大野図書館	240	291	291	292	280
橋本図書館	240	291	291	292	280
相武台分館	240	289	291	292	280
公民館等図書室 (25室平均値)	226	273	272	264	262

※令和元年度・令和2年度は、令和2年3月2日から6日8日までの間臨時休館し、図書館ホームページの閲覧や予約を除くサービスを休止。

※令和3年度は、神奈川県への緊急事態宣言の発出に伴い、8月6日から9月30日までの間、一部サービスの提供を休止。また、相武台分館については、館内消毒のため2日間臨時休館。

※令和5年度は、施設の長寿命化改修工事に伴い、6月から3月まで星が丘公民館図書室が休室。

※令和6年度は、令和7年2月13日から2月25日までシステム機器更新のため臨時休館（ただし雑誌・新聞の閲覧用に一部スペースのみ開館）。以下、この休館について評価本文中では「2月の臨時休館」または「臨時休館」と記載。

II 令和 6 年度図書館事業評価

1 成果指標の実績値

※下表の各項目について

①R6 実績	令和 6 年度の実績値（今回の評価対象）
②R6 評価基準値	令和 6 年度の進捗状況を測るための基準となる数値
③評価基準値比	①／②
④目標値	令和 9 年度の最終的な目標値
⑤ 達成率	①／④
⑥R 5 実績	令和 5 年度の実績値
⑦前年比	①／⑥

※評価基準値以上となった項目は網掛け

成果指標	①R6 実績	②R6 評価基準値	③評価基準値比 (%)	④目標値	⑤達成率 (%)	⑥R5 実績	⑦前年比 (%)
1 市民登録率 (%)	16.3	24.2	67.4	25.0	65.2	17.3	94.2
2 18 歳以下の子ども登録率¹⁾ (%)	24.0	32.1	74.8	33.0	72.7	24.1	99.6
3 新規登録者(人)	13,170	16,082	81.9	16,200	81.3	13,278	99.2
市立図書館	2,782					2,876	96.7
相模大野図書館	2,721					2,641	103.0
橋本図書館	5,193					5,282	98.3
相武台分館	306					327	93.6
公民館等図書室	2,168					2,152	100.7
4 来館者数(人)	1,364,304	1,899,293	71.8	1,913,000	71.3	1,420,391	96.1
市立図書館	419,726					444,957	94.3
相模大野図書館	353,972					370,839	95.5
橋本図書館	590,606					604,595	97.7

1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」第 2 条に基づき、本成果指標の対象となる子どもの年齢を「18 歳以下」としている。

成果指標	①R6 実績	②R6 評価基準値	③評価基準値比 (%)	④目標値	⑤達成率 (%)	⑥R5 実績	⑦前年比 (%)
5 利用者の満足度 (%)	78.9	77.3	102.1	80.0	98.6	76.4	103.3
市立図書館	76.5					73.8	103.7
相模大野図書館	77.2					71.3	108.3
橋本図書館	80.1					80.0	100.1
相武台分館	82.1					80.0	102.6
公民館等図書室	83.7					82.1	101.9
6 図書館ホームページの一日平均アクセス数(件)	5,273	29,718	17.7	30,000	17.6	4,481	117.7
7 レファレンスの受付件数(件)	24,942	37,934	65.8	39,000	64.0	23,663	105.4
市立図書館	8,480					8,227	103.1
相模大野図書館	6,587					4,648	141.7
橋本図書館	7,028					7,824	89.8
相武台分館	2,847					2,964	96.1
8 地域資料の蔵書数(冊)	86,176	88,010	97.9	92,500	93.2	85,527	100.8
市立図書館	41,255					40,672	101.4
相模大野図書館	18,650					18,781	99.3
橋本図書館	24,843					24,639	100.8
相武台分館	1,428					1,435	99.5
9 一般向け講座・講演会等の参加者数(人)	1,617	2,479	65.2	2,600	62.2	985	164.2
市立図書館	675					550	122.7
相模大野図書館	524					113	463.7
橋本図書館	418					322	129.8
相武台分館	0					0	—
10 「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した小・中学生の割合 (%)	64.8	72.8	89.0	75.0	86.4	66.7	97.2

2 基本的な統計の実績値（※職員数は各年度当初、他は各年度末時点の数値。）

※下表の各項目について

①R6 実績	令和 6 年度の実績値
②R5 実績	令和 5 年度の実績値
③前年比	①／②

(1) 市立図書館

項目	①R6 実績	②R5 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	18	18	100.0
うち司書・司書補	6	7	85.7
資料費予算額(千円)	28,290	20,295	139.4
図書購入費予算額(千円)	14,619	12,269	119.2
図書購入冊数(冊)	7,082	6,190	114.4
図書受入冊数(冊)	9,770	9,447	103.4
登録者数(人)	30,430	32,467	93.7
うち市内在住者	28,029	29,894	93.8
蔵書冊数(冊)	362,241	360,675	100.4
うち一般書(冊)	278,571	276,009	100.9
うち児童書(冊)	83,670	84,666	98.8
視聴覚資料点数(点)	12,220	12,153	100.6
雑誌タイトル数	200	201	99.5
貸出点数(点)	519,936	562,981	92.4
うち一般書	300,276	319,729	93.9
うち児童書	183,363	200,766	91.3
うち雑誌	20,742	23,531	88.1
うち AV 資料	15,555	18,955	82.1
貸出者数(人)	140,803	152,620	92.3
予約受付件数(件)	101,737	109,710	92.7
インターネット利用件数(件)	4,117	5,001	82.3
オンラインデータベース等利用件数(件)	73	104	70.2
複写枚数(枚)	15,611	15,136	103.1

(2) 図書館相武台分館

①R6 実績	②R5 実績	③前年比 (%)
5	5	100.0
3	3	100.0
2,703	2,351	115.0
1,889	1,600	118.1
1,222	1,122	108.9
1,410	1,552	90.9
3,956	4,297	92.1
3,569	3,899	91.5
43,595	44,288	98.4
25,497	25,768	98.9
18,098	18,520	97.7
—	—	—
43	43	100.0
74,007	83,227	88.9
51,532	57,261	90.0
18,612	21,550	86.4
3,863	4,416	87.5
—	—	—
23,687	25,905	91.4
18,887	20,979	90.0
918	1,095	83.8
—	—	—
575	363	158.4

(3) 相模大野図書館

項目	①R6 実績	②R5 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	6	6	100.0
うち司書・司書補	3	3	100.0
資料費予算額(千円)	15,734	15,105	104.2
図書購入費予算額(千円)	10,861	10,456	103.9
図書購入冊数(冊)	5,050	4,776	105.7
図書受入冊数(冊)	6,465	6,346	101.9
登録者数(人)	28,565	30,710	93.0
うち市内在住者	25,872	27,765	93.2
蔵書冊数(冊)	295,051	303,738	97.1
うち一般書(冊)	219,162	227,111	96.5
うち児童書(冊)	75,889	76,627	99.0
視聴覚資料点数(点)	11,271	11,283	99.9
雑誌タイトル数	217	226	96.0
貸出点数(点)	360,409	390,375	92.3
うち一般書	212,510	227,840	93.3
うち児童書	120,214	131,759	91.2
うち雑誌	16,420	17,646	93.1
うち AV 資料	11,265	13,130	85.8
貸出者数(人)	106,189	114,734	92.6
予約受付件数(件)	99,822	106,402	93.8
インターネット利用件数(件)	2,884	3,248	88.8
オンラインデータベース等利用件数(件)	65	76	85.5
複写枚数(枚)	9,746	11,754	82.9

(4) 橋本図書館

	② R6 実績	②R5 実績	③前年比 (%)
	7	6	116.7
	3	3	100.0
	15,404	15,341	100.4
	10,728	11,082	96.8
	4,791	4,573	104.8
	6,610	6,965	94.9
	47,290	49,770	95.0
	35,123	36,984	95.0
	318,404	316,343	100.7
	254,195	252,145	100.8
	64,209	64,198	100.0
	15,038	15,043	100.0
	200	209	95.7
	427,795	446,488	95.8
	271,383	280,364	96.8
	120,369	127,167	94.7
	15,560	16,569	93.9
	20,483	22,388	91.5
	146,042	151,322	96.5
	101,508	103,458	98.1
	5,716	6,292	90.8
	123	196	62.8
	13,333	15,818	84.3

(5) 公民館等図書室

項目	①R6 実績	②R5 実績	③前年 比(%)
職員数(人)	—	—	—
うち司書・司書補	—	—	—
資料費予算額(千円)	9,665	7,223	133.8
図書購入費予算額(千円)	9,623	7,134	134.9
図書購入冊数(冊)	7,181	5,219	137.6
図書受入冊数(冊)	8,217	6,328	129.9
登録者数(人)	25,525	27,420	93.1
うち市内在住者	24,932	26,842	92.9
蔵書冊数(冊)	429,768	431,406	99.6
うち一般書(冊)	245,347	246,392	99.6
うち児童書(冊)	184,421	185,014	99.7
視聴覚資料点数(点)	—	—	—
雑誌タイトル数	—	—	—
貸出点数(点)	681,253	707,455	96.3
うち一般書	401,972	414,787	96.9
うち児童書	264,875	277,285	95.5
うち雑誌	14,406	15,383	93.6
うち AV 資料	—	—	—
貸出者数(人)	216,314	223,300	96.9
予約受付件数(件)	249,401	258,387	96.5
インターネット利用件数(件)	63	128	49.2
オンラインデータベース等利用件数(件)	—	—	—
複写枚数(枚)	—	—	—

(6) 全館

①R6 実績	②R5 実績	③前年 比(%)
36	35	102.9
15	16	93.8
71,796*	60,315	119.0
47,720	42,541	112.2
25,326	21,880	115.7
32,472	30,638	106.0
135,766	144,664	93.8
117,525	125,384	93.7
1,449,059	1,456,450	99.5
1,022,772	1,027,425	99.5
426,287	429,025	99.4
38,529	38,479	100.1
660	679	97.2
2,063,400	2,190,526	94.2
1,237,673	1,299,981	95.2
707,433	758,527	93.3
70,991	77,545	91.5
47,303	54,473	86.8
633,035	667,881	94.8
571,355	598,936	95.4
13,698	15,764	86.9
261	376	69.4
39,265	43,071	91.2

※資料費予算額には、電子書籍コンテンツ
利用料(10,127千円)を含む。

3 各図書館による自己点検・評価

3-1 市立図書館・図書館相武台分館

(1) 成果指標の検証

【市立図書館】

- ・ 成果指標全体の状況として、利用者の満足度、レファレンスの受付件数、地域資料の蔵書数、一般向け講演会等の参加者数は前年比で増加した。
- ・ 一般向け講演会として 9 つの事業を開催し、延べ 675 名が参加した。参加者数は前年比で 122.7%と増加した。開館 50 周年に係る記念イベントを複数開催したことが、参加者数の増加につながった。
- ・ 利用者の満足度は 76.5%で、前年比で 2.7 ポイント上昇した。「満足」と回答した方の割合が 5.7 ポイント増加したことにより、満足度の向上につながった。
サービス別に傾向を見ると、昨年度同様「図書館へのアクセス」「職員の知識・対応」の満足度が高かった。「本の品ぞろえ」の満足度は 20.6%で昨年度と比較し 9.8 ポイント減少した一方、「検索機の使いやすさ」の満足度は 41.4%で昨年度と比較し 11 ポイント増加した。
- ・ レファレンスの受付件数は 8,480 件で、前年比 103.1%と増加した。
月別の受付件数では、最多は 3 月の 959 件、最小は 4 月の 563 件であった（平均は 707 件）。臨時休館により、2 月は前年比 78.8%と大きく減少したにもかかわらず、全体では前年度と比較して増加しており、図書館の専門的サービスへの一定のニーズが窺える。
- ・ 新規登録者数は 2,782 人で、前年比 96.7%と減少した。年代別に前年比を見ると、13～18 歳、50～59 歳及び 60～69 歳の年代で増加し、それ以外の年代では減少した。主に 2 月の臨時休館による減少で、開館日一日あたりではほぼ横ばいであった。
- ・ 来館者数は 419,726 人で、前年比 94.3%と減少した。月別に見ると、6 月の 37,798 人（前年比 102.5%）と 11 月の 39,726 人（前年比 101.3%）で増加したが、その他の月は減少した。また、臨時休館の影響により 2 月の 21,095 人（前年比 57.1%）が最も少ない。

【図書館相武台分館】

- ・ 新規登録者数は前年比で 93.6%と減少したが、市立図書館と同様に、臨時休館の影響が大きいと考えられる。新規登録者数の内訳を年代別に見ると、6 歳以下、19～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、70 歳以上で減少したが、それ以外の年代では増加しており、小学生や中・高校生世代、シニア世代が地域の身近な図書館として利用している傾向が見受けられる。
- ・ レファレンスサービスの受付数は 2,847 件で、前年比 96.1 と減少したが、開館日一日当たりの平均では横ばいとなっている。月別の受付件数では、最多は 7 月及び 9 月の 268 件、最小は 2 月の 167 件であった（平均は 237 件）。

- ・ 利用者の満足度は 82.1%で、前年比で 2.1 ポイント増加した。令和 5 年度は令和 4 年度比で 6.3 ポイントと増加幅が大きく、令和 6 年度も増加傾向を維持している。サービス別に傾向を見ると、「図書館へのアクセス」「職員の知識・対応」「資料の探しやすさ」の満足度が高く、「資料の探しやすさ」は前年比で 9.1 ポイント増加した。他方で、「本の品ぞろえ」「本等を提供するまでの時間」「雑誌の品揃え」の「不満」「やや不満」の不満の割合が高い。蔵書及び資料提供サービスの充実 は全体的な課題であり、継続的に取り組む必要がある。

(2) 主な取組の実施状況

【市立図書館】

- ・ 開館 50 周年を記念し、図書館利用の裾野を広げ、来館者の増加等につなげることを目的に様々なイベント等を実施した。パントマイムと絵本の読み聞かせによるパフォーマンスショー「絵本とパントマイム LIVE! ～おむすびひろばにあつまれ～」や、JAXA 講師による科学をテーマにした講義及び参加者とのフリートーク「サイエンスカフェ～JAXA 吉川先生といっしょ～」など、これまで実施したことがない新たなイベントのほか、近隣大学と連携した事業などを実施し、主な 6 事業では 224 名の参加があった。これらの取組により、市民に来館のきっかけを提供し、図書館や本への親しみを感じてもらう機会を創出することができた。
- ・ 近隣学校やボランティアと連携した取組として、青山学院大学の学生ボランティアが英語の絵本や大型紙芝居などの読み聞かせを行う「学生ボランティアによるおはなし会」（参加者数：33 名）や、同ボランティア及び相模女子大学司書課程有志による「コント&ビブリオバトル～究極のアオハル本を君に捧ぐ～」²⁾（参加者数：30 名）を実施し、学生の主体的な参画による交流・発表の場づくりを実現できた。
 また、「相模女子大学×図書館 紙芝居講座」では、紙芝居作家の講師から紙芝居の制作と実演について指導を受けた学生 17 名が、老人福祉センターで「サガジョ生によるシニアのためのおはなし会」（参加者数：21 名）を開催した。図書館の蔵書を活用し、図書館員がコーディネーターとして館外に活動を広げ、地域における世代間交流の機会を創出できた。
 その他、新たに高校生ボランティアの募集を開始したところ、2 名から応募があった（6 年度末時点）。高校生ボランティアが選んだおすすめ本 23 冊と手作り POP を YA コーナーで展示し、22 冊が貸出され、学生ボランティアとの協働による青少年向けコーナーの充実を図った。
- ・ 地域の特色を生かして中央区内の学校や公共施設と連携した取組として、市のシティプロモーション戦略課が主催する「はやぶさ WEEK」の催しと連動し、宇宙開

2 本市出身者をメンバーに含むコントトリオ「青色 1 号」によるコントと、青色 1 号 & 大学生が出演者としてお薦め本をプレゼンし、参加者が「チャンプ本」を選ぶビブリオバトルを実施。チャンプ本は青山学院大学学生がプレゼンした『青くて痛くて脆い』（住野よる著/KADOKAWA）に決定。

発の歴史を描いた巨大タペストリーや模型等とあわせて関連図書の展示を行い、宇宙分野への関心を高めることに努めた。また、淵野辺小学校や大野北まちづくりセンター及び大野北公民館と共催・協力し、児童が作成したオリジナルボードゲームを体験する「地元を学ぶ！地元カタン体験会 in 中央区」³⁾を開催し、延べ 120 名の参加があった。これらの事業を通じて地域に関する理解を深め、市民のシビックプライドの醸成につながる取組を推進した。

- ・ テーマ性のあるコーナー設置や排架・展示の工夫に係る取組として、図書館機能強化分として増額された予算で、蔵書の層が薄い図鑑類や写真資料など視覚的要素が強いビジュアルブックを重点的に 151 冊購入し、更なる蔵書の充実と、活字以外の要素でも分かりやすく楽しめる読書機会の提供を図った。臨時休館中に総合カウンター前に新設した書架で、購入した本も含めてビジュアルブックをテーマに展示を実施したところ、多くの貸出があった（展示冊数：255 冊、貸出冊数：737 冊）。また、この期間中には書架の配置換えや除架作業を集中的に行い、雑誌の空き書架を活用しティーンズの展示架としてリニューアルさせたほか、開架書架に生まれたスペースを活用し書架全体で本の表紙を見せる排架の工夫など、開架書架の魅力向上と資料の利用促進につながる取組に力を入れた。

- ・ 館内の利用環境改善の取組として、主に次の 2 つの取組を実施した。

① 読書室等の照度の改善

読書室や新聞・雑誌コーナーの照明灯を LED に入れ替えることで照度を改善し、利用環境の改善を図った。

② 排煙窓の修繕

防災対策の一環として、排煙窓や誘導灯、非常用照明の修繕を行い、安心して利用できる施設の整備に努めた。

【図書館相武台分館】

- ・ 子どもが読書の楽しさを知るきっかけづくりとして、読み聞かせのボランティア団体（2 団体）との協働で「おはなし会」等を 60 回開催し、延べ 770 人が参加した。地域情報紙への掲載や近隣の保育所等への周知・PR を積極的に行ったことが参加者数の増加につながったものと考えられる。

(3) 基本的な統計の検証

【市立図書館】

- ・ 図書館機能強化分の予算増額により、資料費は約 800 万円（前年比 139.3%）、図書購入費は約 235 万円（前年比 119.1%）増額した。
- ・ 予算増額に伴い、図書購入冊数は 7,082 冊（前年比 114.4%）と増加した。

3 「カタン」とは世界 3 大ボードゲームの一つ。その日本版の販売元の協力を得て、小学校の総合的な学習の時間に児童が作成した相模原バージョンと淵野辺バージョンのゲームを、参加者が体験した。なお、この事業のレポートは、『図書館雑誌』（2025 年 6 月号）に掲載された。

蔵書冊数は 362,241 冊（うち一般書 278,571 冊、児童書 83,670）と増加した。

- ・ 貸出点数は 519,936 点（前年比 92.4%）、貸出者数は 140,803 人（前年比 92.3%）と減少しているが、これは臨時休館による影響が大きいと考えられる。

【図書館相武台分館】

- ・ 蔵書冊数は 43,595 冊（うち一般書 25,497 冊、児童書 18,098 冊）で、前年比 98.4%と微減となった。
- ・ 貸出点数は 74,007 冊（前年比 88.9%）、貸出者数は 23,687 人（前年比 91.4%）と減少した。市立図書館と同様に、臨時休館による影響が大きいと考えられる。
- ・ 複写枚数は 575 枚で、前年比 158.4%と大きく増加した。

(1) 成果指標の検証

- 新規登録者数については、103.0%と図書館 3 館の中では唯一微増となっている。特に、19～29 歳の登録者数の合計が前年度より 109 人増えており、日本語学校に通学する外国人の生徒が、定期的に担任の教員の引率で来館し、利用登録をしたことも一因であると考えられる。
- 来館者数については、臨時休館もあり、全体で前年度比 96.1%となっており、相模大野図書館では、前年比 95.5%と減少幅が大きかった。年間を通してみると、6 月や 1 月は前年を上回っているが、2 月を除くと 4 月、7 月の減少が顕著である。図書館へのアクセスに対する満足度が 66%と市立・橋本図書館よりも 20 ポイント程度低いことから、公共歩廊の閉鎖による相模大野駅からのアクセスの悪さが、引き続き影響していると考えられる。
- 利用者の満足度は、昨年から 5.9 ポイント増加し 77.2%となった。また、各世代へのサービスの満足度が前年度よりも軒並み増加しており、特に子どもへのサービスと、子育て世代へのサービスの満足度は、前者が前年度比 7.3 ポイント増、後者が 5.5 ポイント増となった。
- 一般向け講座・講演会等として、10 代向けのボードゲームや謎解きのイベント、高齢者向けの紙芝居会といった幅広い年代へ向けた事業を実施した。事業全体の参加者数は延べ 524 名と、前年の 113 人を大きく超える参加があった。特に、「～ちょっと欲ばりな午後～ 朗読と音楽を楽しむつどい」は 282 人の集客があったが、会場が相模女子大学グリーンホールの多目的ホールであったためか、直接的には来館者数に影響がなかった。

(2) 主な取組の実施状況

- 定例のおはなし会を年齢別に編成し、2 歳から 3 歳までの幼児と保護者を対象に毎月第 1・第 3 水曜日、4 歳から 6 歳までの幼児と保護者を対象に毎月第 2・第 4 水曜日に実施した。前者は全 38 回実施し参加者は延べ 226 人と前年比 35 人増、後者は全 19 回実施し参加者は延べ 55 人で 26 人減となった。また、ボランティアサークルによる「サタデーおはなし会」を月 3 回、全 28 回実施し、参加者は延べ 402 人と前年比 80 人減となっている。今後も多くの子どもたちに参加してもらうため、周知方法や内容の工夫していきたい。
- 乳幼児とその保護者を対象に、「親子で遊ぼう！わらべうた会」や「絵本で子育てワークショップ」を実施し、読み聞かせとわらべうたをとおして、親子で触れあう機会の演出を図書館の利用促進につなげる目的で実施した。前者は 8 月と 12 月を除き毎月実施し延べ 113 人、後者は 8 回実施し前年と同数の延べ 143 人が参加した。
- 高齢者を中心とした一般向けイベントとして、昨年から引き続き「玉手箱の紙芝

居会」を実施した。参加者数は延べ 45 人と前年比 4 人増とほぼ横ばいとなっている。

- ・ 今年度初めての事業として、一般を対象に「図書館見学ツアー」を実施し、10名の参加があった。普段見ることができない書庫や、ボランティアによる本の修繕の様子を紹介したところ好評だった。
- ・ 10代の来館のきっかけづくりなどを目的に、「図書館でボードゲームと出会う日」や「YA 謎解きイベント」を実施した。前者は 11 月と 3 月に実施し延べ 32 人の参加があった。当初想定していた 10 代の参加者よりも、小学生とその保護者の参加が多かったが、リピート参加が多く、イベントとして定着してきたと思われる。後者については、8 月に実施し、中高生計 12 人が参加した。18 時に閉館する 4 階児童フロアを暗くして実施し、普段とは異なる雰囲気の中、グループごとに協力して謎解きを楽しんでもらった。異世代間の交流の良い機会となり、これをきっかけに、図書館が本を利用する以外の目的でも、気軽に来ることができる場であると感じてもらえたと考えている。
- ・ 2 月に相模原市民文化財団と連携し、グリーンホールの多目的ホールにて「～ちよっと欲ばりな午後～ 朗読と音楽を楽しむつどい」を実施した。俳優による近代文学作品の朗読と、音楽家のマリンバの演奏とピアノの伴奏によるプログラム構成が新鮮だったようで、満場となるほどの大好評であった。アンケートでは、定期開催を望むコメントが多かった。
- ・ 臨時休館時に書架のリニューアルを行った。利用者が目当ての図書を探しやすくするために、棚差しのタイトルの見直しや、文字のフォントやサイズを変更した。また、3 階一般書フロアにおいては、各分類のおすすめの図書を面出し⁴⁾できる余裕のある書架づくりをして、本との出会いを演出するための工夫を凝らした。

(3) 基本的な統計の検証

- ・ 図書館機能強化分や寄附金による予算増額により、資料費は約 63 万円（前年比 104.2%）、図書購入費は約 41 万円（前年比 103.9%）増額した。
- ・ 図書購入冊数は、予算額の増加と購入単価を意識した選書の結果、前年の 4,776 冊から 5,050 冊と前年度比 105.7%増加した。
- ・ 蔵書冊数は、書架リニューアルや、市営立体駐車場に借用していた倉庫の明け渡しのため、積極的かつ計画的に除籍を進めた結果、児童書の蔵書数はほぼ横ばいだったが、一般書の蔵書数は前年より 3.5%減となり、全体で 295,051 冊、前年比 97.1%と微減している。
- ・ 貸出点数と予約件数は、成果指標の来館者数の減少でも述べた公共歩廊の閉鎖による影響もあり、前者は前年度比 7.7%減、後者は 6.2%減となった。昨年と引き続き、リクエストされた本の自館装備による利用者への提供日数の短縮、相模大

4 表紙を前面に見せるように本を陳列する方法。

野駅の図書返却ポストの設置・運用等により、利用者の利便性を高めるよう努めているものの、それらの効果が表れたとはいえない状況である。なお、駅前図書返却ポストについては、令和6年度で累計 58,509 冊、1 回収日あたり 172.1 冊と多くの利用があり、利用者アンケートでも好意的な評価が多かった。

3 - 3 橋本図書館

(1) 成果指標の検証

- ・ 成果指標となる新規登録者数、来館者数、地域資料の蔵書数について、前年比でほぼ横ばいとなった。
- ・ 新規登録者数については、5,193 人となっており、前年比で 98.3%と微減しているが、市内全体の新規登録者数の 39.4%が橋本図書館で登録を行っている。また、来館者数についても 590,606 人と前年比で 97.7%とこちらについても微減となっているが、市内の図書館 3 館全体の来館者数の 43.3%を占めている。「職員の知識・対応」や「交通の利便性など利用のしやすさ」の満足度の割合が高い傾向となっている。また、登録者の内訳は 19~29 歳が一番多く全体の約 28%がこの世代となっており、次いで 30~39 歳が多くなっている。
- ・ 利用者満足度については利用者アンケートの回答の 80.1%が「満足」または「やや満足」と回答し、前年比 100.1%となっており、依然として高い水準を保っている。
- ・ 一般向けの講座・講演会等の参加者数については 418 人で、前年比で約 130%となった。雑誌スポンサーや博物館などと連携して 10 の事業を幅広い内容で開催したことや、利用者アンケートでも要望の高かったシニア世代へのサービスの充実に応えて、大人向けの講座を増やしたことが参加者増につながった。
- ・ 貸出点数については、市立図書館の方が橋本図書館より若干多くなっているにもかかわらず、来館者数は橋本図書館の方が大幅に多い。利用者アンケートでも「毎日」「週に 3~4 回」の利用が橋本図書館利用者全体の 10%を占め、「週に 1~2 回程度」も含めると 41.2%の利用者が週に数回来館している。アクセスが良いため来館頻度が高く、一度に多くの本を借りないことや、逐次刊行物の閲覧やキャレル（個人読書席）の利用が多いことが窺える。また、橋本駅が交通の要衝であるため 13.7%が県外の利用者となっており、これは市内 3 館でも群を抜いて多い。
- ・ レファレンスについては、前年度の 7,824 件から 7,028 件になり、大きく減少する結果となった（前年度比 89.8%）。実際の処理件数に大きな変化は感じられないが、件数の集計方法を統一するとともに、利用者が調べものの相談をしやすい環境づくりについても考える必要がある。

(2) 主な取組の実施状況

- ・ 図書館内の照明をすべて LED 化することにより、以前よりも館内全体が明るくなり、読書環境の向上につながった。

- ・ さがみはら産業創造センター（SIC）との連携により、SIC が選書した寄贈本 154 冊を受け入れ、受け入れた資料をビジネス支援コーナー近くに常設でコーナーを設けて展示し、利用の促進を図るとともに市のビジネス支援施設である SIC の周知も合わせて行った。
- ・ これまで利用したことのない方への図書館の来館のきっかけづくりとして、ミウヰ橋本と連携し、イベント「エシカルスタンプラリー」の参加施設として来館によるポイントのほか、展示された関連本を借りるとさらにスタンプを獲得し、ミウヰ橋本のポイントがもらえる企画に参加し、地域を盛り上げる一助となった。
- ・ 2月の臨時休館を利用し、館内の中央に排架していた大活字本を入口に近い「どなたにもやさしい本のコーナー」へ移動した。閲覧のための机と椅子も備え、視覚障がい者の方にも利用しやすい環境整備を行った。合わせて蔵書の点検を行い除籍を進めた結果、書架に余裕を持たせることができたため、書架内にミニ展示コーナーを設置し利用者が本をより手に取りやすい環境づくりを行った。
- ・ 緑区在住で生きもの写真家の松橋利光さんのご協力により、写真パネル（15枚程度）をこどものほんのコーナーの1面に常設展示として設置し、松橋利光さんの著作とともに展示を開始した。相模原市で撮影された写真も多く、こどものほんのコーナーでの展示にもかかわらず大人も魅了されている。今後は4半期ごとに入れ替えを行いつつ、松橋利光さんの写真の魅力と所蔵の著書を紹介し、利用促進につなげる取り組みを開始していく。
- ・ 国立国会図書館のレファレンス協同データベース⁵⁾への事例公開について、積極的にレファレンス事例を掲載し、橋本図書館の事例に対する閲覧件数が累計で1,265,771件に上り、今年度で15回目のお礼状をいただいている。

(3) 基本的な統計の検証

- ・ 資料費は図書館機能強化分の増額分も含めて前年度比で108%となり⁶⁾、新規購入冊数は昨年度と比較して218冊増加、臨時休館を利用して積極的な除籍を行ったにもかかわらず、寄贈等を含めた蔵書数についても昨年度から2,061冊増の318,404冊で前年比100.7%と増加した。
- ・ 2月の臨時休館の影響により、貸出者数は5,280人減少し、146,042人で前年比96.5%と微減した。また、貸出者数は市立図書館とほぼ変わらないが、来館者数は大幅に多い。このことから新聞や雑誌の閲覧や個人読書席の利用が多いことが考えられるが、その利用者を貸出につなげることが今後の課題である。
- ・ オンラインデータベース等利用が前年度から73件減少し、前年比で62.8%とかなり落ちている。紙媒体からデータベースへ移行する資料もあり、調べものをする上で有効なツールであることや利用方法等を積極的に周知し、利用促進につなげていく必要がある。

5 国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築するレファレンス事例のデータベースで、参加図書館のレファレンス事例を記録し検索等が行える。

6 基本統計では前年比100.4%であるが、令和5年度に輪番購入のJISハンドブックの予算が付いており単純な前年比較が難しいため、JISハンドブックの予算を除く実質的な増加分を記載した。

4 内部評価

(1)段階評価

総合評価：B（概ね目標どおりの成果が得られた） 55点／100点

〔総合評価の点数の内訳〕

	項目及び評価	点数
1	成果指標の達成項目による評価（C）	15／60
2	施策の取組状況による評価（A）	40／40

【総合評価に対する図書館の意見】

総合評価の点数は 55 点で、昨年度と同様に B 評価となった。内訳としても昨年度と同様で、各図書館で計画に基づき積極的に施策に取り組んだ一方で、評価基準値を上回った指標は一項目のみとなり、成果指標については 10 項目中 1 項目の達成に留まった。

成果指標の状況を前年比で見ると、10 項目の成果指標のうち増加が 5 項目、減少が 5 項目となった。増加したもののうち、一般向け講座・講演会等の参加者数は前年比 164.2%と大幅増となり、各図書館において利用を促す新たな取組を積極的に実施した成果が表れたといえる。

一方で 9 年度に向けた達成率で見ると、利用者の満足度をはじめとした 4 項目では 8 割を超えているものの、その他の指標では 6 割から 7 割程度に留まっている項目や、目標値から大きく乖離したまま推移している項目もあり、達成に向けては依然厳しい状況である。

6 年度は図書館機能強化の取組として、すべての図書館及び公民館等図書室において蔵書の更新を図った。成果指標の向上等の目標達成に向けては、今後も継続的に蔵書の充実による利用促進やサービスの拡充を図るとともに、達成度合いが低い指標を中心に、理由を検証し、重点的に取り組むような試みを検討していく必要がある。

あわせて、多様な主体と連携した事業展開や、ライフステージに応じた連続性のある取組により、市民の図書館利用活性化を推進していきたい。

【今後の主な取組】

- ・ 成果指標の改善に向けた重点的な取組の実施
- ・ 蔵書の充実及び利用促進
- ・ 中央図書館機能の確立・充実
- ・ 市立図書館の再整備の推進
- ・ 読書活動推進事業（電子書籍、くるくるとしょかん）の推進
- ・ 図書館DXの推進
- ・ 多様な主体との連携による事業展開

【評価内訳】

1 成果指標の達成項目による評価（C：10項目中、1～4項目で達成）

	達成した項目（単位）	R6 評価基準値	R6 実績値
5	利用者の満足度（％）	76.4	78.9

※未達成項目も含む成果指標全体の状況については、p.5～6「成果指標の実績値」と、p.24～27「(2) 成果指標の検証」に記載

2 施策の取組状況による評価（A：目標どおり）

基本目標 1 生涯にわたる豊かな学びを提供する図書館		評価 a（得点 3）		
「(2) 施策の方向」の評価の合計点が、13点/15点（8.7割）				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・市民の多様な読書・情報ニーズに対応する蔵書構築	○	①蔵書の充実 (04/施策数4=10割)	◎	3
・資料選定の効果的な実施	○			
・テーマ性のあるコーナー設置や排架・展示の工夫	○			
・保存機能充実に向けた検討	○			
・快適な読書環境の提供	×	②利用環境の充実 (03/施策数6=5割)	○	2
・ユニバーサルデザインに配慮した利用環境の整備	○			
・くつろいで読み聞かせができるスペースや学習スペースの確保	×			
・Wi-Fiによるインターネット環境の提供	○			
・飲食のできるスペースの検討	×			
・ICTを活用しながらグループでの学習や話し合いができるなど多様な活動に対応できるスペースの検討	○			
・公民館等図書室の利用促進に向けた資料選定等の支援	○	③より身近な図書館サービスの提供 (03/施策数4=7.5割)	○	2
・公民館等図書室への図書館が所蔵する資料の配本や配送システムの充実の検討	○			
・公民館等の図書室職員の研修会等の実施	○			
・図書館サービスが十分行き届いていない地域への対応として、図書の受取や返却ができる場所の検討	×			
・各世代のニーズに対応したサービス展開	○	④多様な利用者に向けたきめ細かいサービスの充実 (04/施策数4=10割)	◎	3
・障害のある方の利用機会の充実	○			
・国際化に対応した資料や利用環境の整備	○			
・図書館・図書室への来館（室）が困難な方に向けた貸出サービスの検討	○			
・オンラインデータベースやインターネット上の情報資源を活用した情報提供の充実	○	⑤ICTを活用したサービス向上 (04/施策数4=10割)	◎	3
・電子書籍の導入に向けた検討	○			
・デジタルアーカイブの導入に向けた検討	○			
・ICタグの導入など先端技術を活用したサービスの検討	○			

基本目標 1 の取組状況の概要（施策の方向別）

- ①図書館機能強化分として増額された資料費で蔵書の鮮度をあげるための買替を行い、蔵書の充実に努めた。あわせて書架のリニューアルや展示を行い、利用促進を図った。
- ②館内照明のLED化等により利用環境の改善を行うなど、現施設で実施可能な一部の取組を行った。「くつろいで読み聞かせができるスペースや学習スペースの確保」など実施できていない項目については、施設整備等の機会を捉えて更なる充実に図りたい。
- ③公民館等図書室への日常的な支援に加え、市立図書館における公民館図書室の企画展示への支援の取組や、図書室職員等へ「合理的配慮」をテーマとした研修を実施した。図書の受取や返却ができる場所の検討については、中央図書館機能において今後検討していく。
- ④各世代等のニーズに応じた資料の収集・提供や展示・イベントなどを各図書館で実施したほか、図書館ホームページにやさしい日本語による利用案内ページを設け、多様な利用者の利便性向上に取り組んだ。また、来館が困難な方に向けた貸出サービスとして電子書籍のコンテンツ拡充を図った。

- ⑤図書館システム機器更新により図書館ホームページの充実やネットワーク環境の改善を図った。また、「さがみはらデジタルアーカイブ」⁷⁾に橋本図書館が発行するミニガイド「発見！さがみはら」を公開した。

基本目標2 市民や地域に活力を与える図書館		評価 a (得点 3)		
「(2) 施策の方向」の評価の合計点が、12点/12点 (10割)				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・レファレンスサービスの充実	○	①課題解決支援の充実 (○6/施策数6=10割)	◎	3
・ライフステージに寄り添った情報提供の充実	○			
・社会問題に対応した情報提供の充実	○			
・ビジネス支援の充実	○			
・情報活用能力向上の支援	○			
・市内・近隣大学との連携	○			
・健康・福祉・産業振興・多文化共生などの施策との連携による情報提供	○	②行政テーマと連携した情報提供・発信	◎	3
・市職員に対する情報提供	○	(○2/施策数2=10割)		
・地域資料の積極的な収集・整理・保存	○	③地域資料の収集・活用・継承	◎	3
・地域資料の情報発信や活用推進	○	(○2/施策数2=10割)		
・いきいきした暮らしや新たな関心につながる講座・講演会等の実施	○	④本や人との出会い、交流の創出 (○1/施策数3=6.6割)	◎	3
・世代間など多様な交流の機会・場の提供	○			
・自己実現や地域活性化に資するボランティア養成・支援	○			

基本目標2の取組状況の概要（施策の方向別）

- ①ビジネス支援や医療・健康情報、子育て支援など、市民の生活課題に資する資料の収集と提供を実施した。また、青山学院大学と連携し、学生による企画展示を実施した。
- ②各図書館において、関係各課の依頼を受け市の施策の啓発展示を実施するとともに、庁内に向けたレファレンスサービスや、議会図書室への資料提供を通じ、市職員や議員への情報支援を行った。
- ③地域資料を着実に収集・保存するとともに、公文書館や博物館と連携した企画展示や、「ウィキペディアタウン in さがみはら@橋本」の開催、「さがみはらデジタルアーカイブ」に橋本図書館発行のミニガイド「発見！さがみはら」を公開するなどの取組により、地域情報を発信した。
- ④各図書館で講座・講演会を実施したほか、市立図書館の「スペシャルおはなし会」や「サガジョ生によるシニアのためのおはなし会」など、世代間交流の機会や学びの成果を生かす機会の提供を行った。また、3館合同でおはなしボランティア養成講座を実施し、読み聞かせ等の講義や演習とともに、ボランティア団体と参加者との情報交換会を実施したところ、新団体が1団体発足し、令和8年度から新規実施予定の橋本図書館の紙芝居会に向けて勉強会を行っている。

7 本市が持つ資料・資源をデジタル化し、インターネットで検索・閲覧できるデジタルアーカイブで、令和7年3月に公開された。図書館では、子ども向けの地域に関する調べ方ガイド「発見！さがみはら」を公開している。(URL: <https://digital-sagamihara.jp/>)

基本目標3 子どもが読書を楽しみ「生きる力」を育む図書館		評価 a (得点 3)		
「(2) 施策の方向」の評価の合計点が、9点/9点 (10割)				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・子どもにとって身近な施設である公民館等図書室の利用促進	○	①子どもが読書にふれあう機会の充実 (08/施策数8 = 10割)	◎	3
・児童書及び青少年向け資料の充実	○			
・子ども向けレファレンスサービスの充実	○			
・中学生・高校生の活動支援・居場所づくり	○			
・電子書籍の導入検討	○			
・障害のある子どもが利用しやすい資料の充実及び読書環境の整備・拡充	○			
・外国につながる子どものニーズに合った資料及びPRの充実	○			
・子ども資料団体貸出制度の活用促進に向けた配送方法の検討など学校等関係機関との連携強化	○			
・おはなし会やブックトーク等事業の実施・充実	○	②読書の楽しさを伝えあう取組の推進 (07/施策数7 = 10割)	◎	3
・親子等で楽しめる読書環境の整備・拡充	○			
・中学生・高校生を対象とした事業の拡充	○			
・子ども読書の日や読書週間等を捉えた普及啓発イベントの開催	○			
・図書館ホームページ等による読書活動に関連する情報発信	○			
・学生ボランティアの事業への参画	○			
・学生ボランティアとの協働による青少年向けコーナーの充実	○	子どもの読書応援隊の支援 (05/施策数5 = 10割)	◎	3
・読み聞かせ講座の実施など保護者に対する読書活動への理解の促進	○			
・保護者向け読書情報など家庭における読書活動への支援	○			
・ボランティアとの協働によるおはなし会等の事業の開催	○			
・ボランティア養成等の各種講座の開催	○			
・ボランティア団体の活動情報の集約及び情報提供	○			

基本目標3の取組状況の概要（施策の方向別）

- ①児童書及び中高生世代向けの資料の充実や、電子書籍貸出サービスや「くるくる としょかん」の実施、展示等による児童書の情報発信により、子どもや子育て世代の読書環境や機会の充実を図った。また、LLブックや布絵本、外国語絵本など、子どもたちの様々な読書の形に応じた資料の収集・提供を行った。
- ②おはなし会やわらべうた会、ブックトークなどの本の楽しさを伝える取組や、近隣大学等の学生ボランティアの参加によるビブリオバトル、青少年向けコーナーでのおすすめ本の展示等の取組を拡充した。
- ③各図書館でボランティア団体の協力を得ておはなし会等を実施するとともに、おはなしボランティア養成講座により、子どもの読書を応援する保護者やボランティアの支援を行った。また、3館共同で乳幼児から幼児向けの絵本等を紹介する年齢別ブックリスト3種を発行するなど、保護者への読書情報の提供を拡充した。

基本目標 4 将来にわたり進化し続ける図書館		評価 a (得点 3)	
「(2) 施策の方向」の評価の合計点が、8点/9点 (8.9割)			
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価 得点
・社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応した全市のサービスの企画・推進	○	①中央図書館機能の確立・充実 (○4/施策数6=6.7割)	○ 2
・資料の収集・保管の統括及び本市図書館全体を捉えた資料構築	×		
・図書館ネットワーク(電算システム・配送)の管理・運用	○		
・関係機関、団体等との全市的な連携の推進	○		
・充実した資料群、設備、専門的人材による、多様化、高度化するニーズに対応したサービスの提供と地域図書館や公民館等図書室の支援	×		
・中長期的な視点による専門的な人材の確保・育成	○		
・地域の特性やニーズ、課題に応じたサービスの充実	○	②地域図書館における地域に根差したサービスの充実 (○5/施策数5=10割)	◎ 3
・地域の情報拠点として市民の学びと暮らしを支える幅広い情報を提供	○		
・近隣の学校や地域団体、ボランティアと連携した事業展開	○		
・生涯学習の機会、交流・発表の場の提供	○		
・地域におけるサードプレイスとしての役割	○	③効果的・効率的な図書館運営 (○7/施策数7=10割)	◎ 3
・市民・関係機関・団体との連携・協働の推進	○		
・図書館事業評価の実施と図書館サービスへの反映	○		
・民間活力の効果的な活用による図書館サービスの向上	○		
・ホームページやSNSなどにおける効果的な情報発信など 図書館プロモーションの推進	○		
・図書館、視聴覚ライブラリーの資料及び提供サービスの一体化の推進	○		
・専門的職員の計画的な確保・充実	○		
・図書館職員研修の充実	○		

基本目標 4 の取組状況の概要(施策の方向別)

- ①令和 5 年度に策定した「中央図書館機能基本方針」に基づき、中央図書館機能の確立・充実に向けた具体的な検討を行うため、図書館 3 館の司書専門職によるワーキンググループを立ち上げた。計 4 回の検討会を通じて、人材育成機能や、淵野辺駅南口周辺のまちづくり事業における市立図書館の再整備を見据えた新図書館に必要な諸機能について、意見交換を行った。また、図書館ネットワークのうち図書館システムの運用について、図書館システム機器及びネットワークの更新を行い、利用者の利便性向上を図った。
- ②地域図書館(市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館)において、各地域の特性やニーズの把握に努め、蔵書による幅広い情報提供を実施した。また、市立図書館における中央区役所と連携した花手水(睡蓮鉢の設置)や中央区スタンプラリーの取組、相模大野図書館における近隣の中学・高校との連携事業、橋本図書館におけるミウィ橋本との連携の取組など、地域の特性に応じた事業を実施した。
- ③効果的・効率的な図書館運営を行うため、令和 5 年度事業の評価を実施し、成果や課題の検証と、取組改善への活用を図った。また、図書館プロモーションの推進として、市立図書館開館 50 周年に関連して、広報さがみはら 9 月 15 日号(中央区版)や、ラジオ番組「大好き!中央区」⁸⁾ 9 月放送分での図書館特集を行ったほか、イベント周知ポスターを書店にも掲示していただくなど、図書館の未利用者も意識した働きかけを行った。また、専門的職員の充実のため、図書館司書講習に職員を 1 名派遣したほか、図書館総合展などの研修機会を捉えて積極的に参加した。

8 地元のコミュニティ FM 局「FMHOT839」の番組。中央区の魅力や情報を発信するとともに、中央区で活躍している人を紹介している。

(番組の URL: <https://fm839.com/program/p00000020> 2025 年 8 月 23 日確認)

(2)成果指標の検証

【各指標の検証】

①全体の傾向

- ・ 成果指標のうち、令和 6 年度の評価基準値を上回った項目は 1 項目（利用者の満足度）で、昨年度と同様であった。
- ・ 前年比では、10 項目の成果指標のうち、一般向け講座・講演会等の参加者数などの 5 項目で増加した。
- ・ 令和 9 年度の目標値から達成率を見ると、利用者の満足度をはじめとした 4 項目では達成率 8 割を超えている一方、市民登録率、18 歳以下の子どもの登録率、来館者数、レファレンスの受付件数、一般向け講座・講演会等の参加者数は達成率が 6～7 割にとどまっている。また、図書館ホームページの一日平均アクセス件数は 2 割に満たず、目標値から乖離したまま推移している。
- ・ 成果指標達成に向けては、麻布大学いのちの博物館の関連展示や、相模原市民文化財団との「～ちょっと欲ばりな午後～ 朗読と音楽を楽しむつどい」、ミウヰ橋本との「エシカルスタンプラリー」など、多様な主体と連携した事業展開により図書館利用のきっかけづくりを積極的に行うとともに、定例おはなし会や学生ボランティア活動、子育て世代やシニア向けの各種講座など、発達段階やライフステージに応じた取組により継続的な図書館ユーザーとして根付いていただくことを念頭に置いた事業の組み立てを行っていく必要がある。

また、達成度合いが低い指標を中心に、理由を検証し、重点的に取り組むような試みも検討したい。

②市民登録率（16.2%）

- ・ 評価基準値（24.2%）を下回り、前年比でも 1.1 ポイント減少した。
- ・ 市内在住の登録者数の累計は 117,525 人で、前年比 93.7%（7,859 人減）となったことで、市民登録率も減少した。比較可能な平成 26 年度からの推移を見ると、令和元年度に減少に転じ、それ以降は減少が続いている。新規登録者の減少に加え、既に登録している方が定着せず、更新期間を過ぎて減少している。
- ・ 市人口が維持されている中で市民登録率が減少を続けていることは大きな課題である。新たな利用者を取り込むきっかけとなる事業を積極的に展開するとともに、事業実施とあわせて貸出券の登録を促す声掛けを定例化するなどに努めたい。

③18 歳以下の子どもの登録率（24.0%）

- ・ 評価基準値（32.1%）を下回り、前年比では 99.6%とほぼ横ばいであった。
- ・ 18 歳以下の子どもの登録者数が前年比 95.3%（1,178 人減）となったことで、登録率も減少した。なお、同年代の市人口は前年比 95.7%であることから、市人口の減少と概ね見合った傾向となっている。
- ・ 年代別に登録者数の前年比を見ると、0～6 歳（前年比 96.0%）、7～12 歳（前年比

98.7%)、13～18 歳（前年比 91.6%）となっており、特に 13～18 歳の減少率が高いことから、学齢が上がる機会を捉えたきっかけづくりに注力するなど、切れ目のない取組を推進していく必要がある。

④新規登録者数（13,170 人）

- ・ 評価基準値（16,082 人）を下回り、前年比では 99.2%とほぼ横ばいであった。2月の臨時休館の影響はあったものの、相模大野図書館、公民館等図書室では前年比で増加するなど、前年度並みの水準は維持できた。
- ・ コロナ禍で大きく減少した令和 2 年度（10,565 人）との比較では 124.7%と徐々に回復しているが、中長期的には減少傾向にあり、10 年前（平成 25 年度・20,501 人）との比較では、64.2%となっている。
- ・ 年代別に見ると、19～29 歳、30 歳代、40 歳代、小学生世代の順で多く、この傾向は数年間続いている。ライフスタイルの変化による新たな登録が多いことが推測されるものの、本市の人口動向として就職や住宅購入世代の転出超過の傾向が見られることから⁹⁾、登録者として定着には至らない場合も多く、登録者全体の減少につながっていると考えられる。

⑤来館者数（1,364,304 人）

- ・ 評価基準値（1,899,293 人）を下回り、前年比では 96.1%と減少した。なお、開館日 1 日あたりの来館者は、令和 6 年度 4,864 人に対し 4,873 人とやや増加しており、2月の臨時休館の影響を除くと、ほぼ横ばいであった。
- ・ 図書館システム機器更新により臨時休館をした 2 月は前年比 57.1%まで落ち込んでおり、このことが 6 年度来館者の減少に大きな影響を与えている。

⑥利用者の満足度（78.9%）

- ・ 評価基準値（76.4%）を上回り、目標を達成した。前年比でも 2.5 ポイント増加した。
- ・ 令和 2 年度からの 4 年間では、令和 9 年度の目標値（80%）に近い 75%前後で推移していたが、今回さらに増加したことで、目標達成にさらに近づいている。
- ・ 利用者アンケートで各サービス別の傾向を見ると、「図書館へのアクセス」と「職員の知識・対応」の 2 項目で重要度・満足度ともに高い傾向が続いており、総合的な満足度にもつながっていると考えられる。一方で、「本等を予約してから提供するまでの時間」「CD・DVD 等の品ぞろえ」「図書の商品ぞろえ」などは不満の割合が高いことから、今年度実施した図書館機能強化による蔵書の充実といった取組を今後も継続的に行う必要がある。

9 「未来へつなぐ さがみはらプラン～相模原市総合計画～」序論の「【3】社会増減の動向」による。<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seisaku/1015646/index.html>（令和 7 年 8 月 29 日最終確認）

- ・ 図書館と公民館等図書室との比較として、総合的な満足度は公民館等図書室が高いが、「図書の品ぞろえ」の不満の度合いは公民館等図書室が 17.2 ポイントも高い。図書の更新により開架新鮮度¹⁰⁾を上げるため、6 年度は公民館の図書購入予算を増額し、蔵書の充実を図った。こうした取り組みを継続的に行うことで満足度の上昇に繋げたい。

⑦図書館ホームページの一日平均アクセス件数（5,273 件）

- ・ 評価基準値（29,718 件）を大幅に下回り、目標値と大きな乖離がある。前年比では 117.7%と増加した。対象となるトップページへのアクセス数は、令和 2 年度以降 4 千件台で推移していたが、6 年度は 5 千件台を超えた。月別に見ると、3 月の 1 日平均アクセス件数（9,835 件）が、4 月から 2 月までの 1 日平均アクセス件数（4,938 件）を大きく上回っている。これは 2 月に図書館システム機器更新を行い、トップページから開館カレンダーがダイレクトに見られるよう改善を図ったことなどの影響であると推察できる。4 月以降のアクセス件数の推移等を含めて検証に努めていきたい。
- ・ 資料検索ページへのアクセス¹¹⁾は一日平均 123,712 件で、5 年度と比較し 27,998 件増加した。増加傾向が続いており、図書館ホームページ自体の利用は維持されている。
- ・ 利用者アンケート等においては、図書館ホームページの機能のうち資料検索などの WebOPAC への意見が相対的に多いが、2 月に行った図書館システム更新により一部改善を図ることができたため、今後もアクセス件数の推移を注視していきたい。

⑧レファレンスの受付件数（24,942 件）

- ・ 評価基準値（37,934 件）を下回り、前年比では 105.4%とやや増加した。コロナ禍の影響から徐々に増加を続け、目標値から 6 割程度の達成率まで回復した。
- ・ コロナ禍をきっかけに令和 3 年度から開始したメールレファレンスの受付件数が年々、増加傾向にある（令和 6 年度：24 件、令和 5 年度：12 件）。メールレファレンスについて一層周知に力を入れることで、非来館によるレファレンスの利用の拡大を図りたい。
- ・ レファレンスサービスの基盤となる参考図書の蔵書数は 60,297 冊で、10 年前との比較では 99.6.%とわずかに減少しているものの、概ね必要な蔵書を着実に蓄積できている。

⑨地域資料の蔵書数（86,176 冊）

- ・ 評価基準値（88,010 冊）を下回り、前年比では 100.8%と微増した。本市の行政資料を中心に収集し、前年から 649 冊増加した。
- ・ 令和 9 年度の目標値（92,500 冊）の 9 割以上に達しており、着実な収集が実施できている。今後の更なる充実のためには保存スペースの確保が必須であることから、淵野

10 市民が直接利用できる開架書架にある蔵書の冊数に占める、新しく受け入れた蔵書の割合のこと。

11 資料検索ページの検索条件入力画面のアクセス数。

辺駅南口周辺のまちづくりにおける市立図書館の再整備において、必要なスペースについて着実に検討を進めたい。

⑩一般向け講座・講演会等の参加者数（1,617人）

- ・ 評価基準値（2,479件）を大きく下回ったが、前年との比較では632人と大きく増加した。
- ・ コロナ禍以前の水準には回復できていないものの、令和3年度以降に講座・講演会を再開してからは徐々に増加傾向で推移している。6年度は市立図書館開館50周年記念事業や、市民文化財団と連携したグリーンホール相模大野多目的ホールでの催しなど、一般対象の新たな事業を多く実施したことが影響し、前年比では164.2%と増加した。
- ・ 子どもを対象とした事業と比較すると、実施事業や頻度が少ない傾向にあるため、図書館の新たな利用層を開拓する意味でも、来館のきっかけづくりとなるような事業の更なる充実を図りたい。

⑪【「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した小・中学生の割合（64.8%）

- ・ 評価基準値（72.8%）を下回り、前年比でも1.9ポイント減少した。令和9年度の目標値（75.0%）の8割以上の達成率となっている。
- ・ 本市の第3次子ども読書活動推進計画において各課・機関が横断的に取組を進めており、図書館においては令和4年度から小・中学生全員に向けて電子書籍貸出サービスを開始し、図書館利用とは別の形でも、読書の楽しさを伝える取組を継続している。

(3)主な取組について

1 図書館システムの機器及びネットワーク更新

令和7年2月に、図書館システムの機器及びネットワークの更新を行い、ネットワーク環境の改善を図るとともに、機器の更新とあわせて、図書館ホームページにやさしい日本語による利用案内ページや、子ども向けの電子書籍サービスのバナーを追加するなど、利用者の利便性向上を図った。

2 電子書籍サービスと子ども読書資料循環制度「くるくる としょかん」の実施

子どもの読書環境の充実を図るため、小中学校等と連携した電子書籍サービスの提供と、子どもに身近な施設に児童書セットを循環させる「くるくる としょかん」の取組を、引き続き実施した。令和6年度には、子どもへのアンケートの結果に基づき、電子書籍コンテンツの見直しを行うとともに、「くるくる としょかん」で循環する児童書セットに新しい児童書を追加し、子どもの意見を取り入れて内容の充実を図った。また、電子書籍コンテンツを拡充するため、クラウドファンディング型ふるさと納税を実施した。

【電子書籍サービスの利用状況】

ア.利用者数（実人数）

（単位：人）

小学生	中学生	一般	合計
9,218	769	587	10,574

イ.延べ閲覧回数

（単位：回）

小学生	中学生	一般	合計
220,515	17,396	6,202	244,113

【くるくるとしよかんの実施状況】

施設区分	施設数	循環実績	
保育園・こども園	24	延べ 144 回	5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
児童クラブ	44	延べ 264 回	5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
こどもセンター	24	延べ 144 回	5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
児童館・児童室	24	延べ 144 回	5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
児童相談所	1	延べ 4 回	4 月、7 月、10 月、1 月（3 か月ごと）
陽光園（療育センター）	1	延べ 3 回	6 月、10 月、1 月（4 か月ごと）
合計	118	延べ 703 回	

* 陽光園（療育センター）への循環は、令和 7 年 1 月から 3 か月ごとに変更。

3 市立図書館開館 50 周年記念事業の実施

市立図書館では、開館 50 周年を記念し様々な事業を実施した。これまでにない新たなイベントや、近隣大学と連携した事業などを実施し、主な 6 事業では 224 人の参加があるなど、図書館利用のきっかけにつながる取組を推進するとともに、図書館の認知度の向上や図書館の機能について広く PR を行う機会となった。

4 （公財）相模原市民文化財団と連携した「朗読と音楽を楽しむつどい」の開催

相模大野図書館では、来館者の増加を図るため、地域の賑わい創出に寄与する事業の開催を検討していた（公財）相模原市民文化財団との共催により、グリーンホールの音響設備を活かし、経験豊富な俳優による近代文学作品の朗読と地域で活躍している音楽家によるピアノとマリリンバの演奏のコラボイベント「相模大野図書館×相模女子大学グリーンホール ～ちょっと欲ばりな午後～ 朗読と音楽を楽しむつどい」を開催した。

当日は、想定を超える 280 人以上が来場し、急遽立見席も用意したが、朗読、演奏ともたいへん好評であり、初の試みであったが、非常に満足度の高いイベントとなった。

5 さがみはら産業創造センター（SIC）との連携

橋本図書館では、令和 6 年度から SIC と連携し、SIC が選書したビジネスに関する書籍を継続的に寄贈いただくこととなり、従前から設けているビジネス支援の書架の近くに新たに寄贈いただいた資料をまとめて展示するコーナーを設置した。

今後についてもさらに連携を進め、ビジネスに関する講座の開催等も検討している。

6 大活字本の配架場所の移動

橋本図書館では、これまで図書館の中央に配架されていた大活字本を、来館者の目に留まりやすいように、入口すぐの「どなたにもやさしい本のコーナー」内に移動した。合わせて手にとりやすいように、「どなたにもやさしい本のコーナー」内に閲覧席を設け、ブラウジングや読書席として利用できる環境を整えた。

(4)基本統計の検証

【蔵書に関する統計】

- 資料費予算額は 71,796 千円（前年比 119.0%）、図書購入費予算額は 47,720 千円（前年比 112.2%）と増加した。増加理由として、令和 4 年度に開始した電子書籍サービスと、「くるくる としょかん」における資料購入サイクルに応じて、電子書籍コンテンツ利用料及び児童図書購入費が増額したことや、図書館機能強化分として全館に図書購入費が計上されたことによる。
- 蔵書冊数は 1,449,059 冊で、前年比 99.5%と微減であった。蔵書の保存スペースが限界を迎えている中で、平成 29 年度の 1,458,403 冊をピークにそれ以降は増減を繰り返しており、ここ 10 年間で市民一人当たりの蔵書冊数は 2.0 冊のまま推移している。
- 図書購入冊数は、25,326 冊で、前年比 115.7%と増加した。（過去 10 年間では最多が令和 4 年度の 30,467 冊。平均は 26,366 冊）。蔵書の更新が十分でないことから開架新鮮度を高めて利用促進に繋げるため、令和 6 年度は図書館機能強化分として増額された予算で図書の買替や新規購入に全館で取り組み、全館で蔵書の鮮度を上げることができた。今後も継続的に資料費の確保や蔵書の充実・更新に取り組むことで、貸出点数の上昇（または回復、下げ幅の減少）に努めたい。

【利用者に関する統計】

- 登録者数は 135,766 人で、前年比 93.8%と減少した。平成 27 年度以降の過去 10 年間の推移を見ると減少傾向が続いており、平成 27 年度の 192,776 人から約 5 万 7 千人減少している。新規登録者数の減少に加え、既に登録している利用者が定着せず、有効期限切れによる減少が多く発生していることが、登録者の減少につながっている。
- 登録者の年代別構成比の特徴として、大学生世代の転入超過の傾向からか、19～29 歳の年代が一貫して高く、令和 6 年度は 16.6%で前年比 0.5 ポイント増加し、構成比は全世界代のうち最も高くなった。また、これまで構成比が最も高く、ほぼ一貫して増加傾向にあった 70 歳以上の年代で、令和 6 年度は 16.3%で前年比で 0.6 ポイント減少した。
- 新規貸出登録者の特徴として、前年比で 6 歳以下（102.0%）、7～12 歳（101.1%）、19～29 歳（103.7%）、50～59 歳（107.0%）で微増している。特に 19～29 歳の年代で、相模大野図書館において前年比で 109 人増加しており、増加幅が大きくなっている。これは 6 年度から、日本語学校に通学する外国人の生徒が定期的に教員引率で来館し、計 91 名が利用登録を行ったことの影響が大きいと考えられる。

【蔵書の利用に関する統計】

- 貸出点数は 2,063,400 点 (94.2%)、貸出者数は 633,035 人 (94.8%)、予約受付件数は 571,355 件 (95.4%) と、いずれも前年比で減少した。
- 貸出点数を年代別に見ると、70 歳代以上が約 54 万点で最も多く、次いで 40 歳代、50 歳代、60 歳代の順となっている。また、分類別に見ると、一般書の文学、絵本、児童書の文学、一般書の社会科学の順となっており、この傾向は例年と同様で大きな変化は見られない。
- 貸出点数は平成 21 年度 (3,510,574 点) をピークに減少を続けている。10 年前の平成 27 年度 (2,910,963 点) との比較では約 85 万点減少した。資料種別に見ると、視聴覚資料が平成 27 年度比で 34.9%と著しく、次いで雑誌 (59.0%)、一般書 (72.1%)、児童書 (75.4%) の順となっている。
- 令和 5 年度との比較でも、視聴覚資料 (14.2%減) と雑誌 (8.5%減) の減少幅が大きい。2 月のシステム機器更新による休館により貸出が減少したことに加え、ウェブでの読み放題サービスやオンデマンド配信等の普及によるメディア環境の変化に関連して、雑誌の休刊等の増加や、CD・DVD の発売点数の減少による影響も背景にあると考えられる
- 視聴覚資料については、市民アンケートでも予約取り寄せへの要望が一定数あることを踏まえ、令和 2 年度から年 1~2 回程度、「視聴覚資料交換展示」(図書館 3 館で所蔵する CD・DVD の一部を各館で交換し、展示・貸出) を行っているが、貸出点数の減少傾向の回復には至っていないことから、予約取り寄せや視聴サービスの導入など、抜本的な見直しを検討する必要がある。
- 児童書については相対的に減少幅が小さく、市立図書館では中長期的に見てやや増加するなど、子どもや子育て世代のニーズが一定数維持されていることが分かる。
- 蔵書の利用については、より多くの市民が、蔵書をそれぞれの目的に沿って活用できることを目指していく。それには、現在の利用状況を分析しニーズを把握することに加え、未利用者も含め広く市民や地域のニーズを掘り起こすような蔵書構築を行う必要がある。

5 外部評価

(1)段階評価

総合評価：C（成果は得られたが、改善の余地がある）

- ・ 職員の取り組みは評価するが成果指標の達成率の低調さを憂慮する
- ・ 利用者ではない市民に図書館を認識してもらうための抜本的な取り組みを

(2)総評

相模原市立図書館協議会は、令和6年度相模原市図書館事業評価（案）を熟読して、令和7年度第2回相模原市立図書館協議会で確認した評価枠組みに基づき、相模原市立図書館による内部評価手続きが適切に行われていることを確認した。以下、この事業評価（案）を元に外部評価を行っていききたい。

近年、利用者満足度は高いものの、他の成果指標の達成度合いが低調という状況が続いている。外部評価においても、図書館員の取り組みは評価しつつも、成果指標の達成の度合いから高い評価を与えられず苦慮する傾向が続いている。

図書館員の努力は評価するが、同時に局地的といってよい、それぞれの場面での職員
の努力では成果指標の達成は困難であるということも明らかになっている。図書館とし
ての大きな目標を達成するためには、図書館行政、運営そのものについて大きな視点で
改めて精査すべき局面に立たされているともいえるだろう。

こういった構造的な問題を抱えていることに対して、外部評価委員からも、現在の実
施されているサービスについての指摘だけでなく、より大きな枠での抜本的な取り組
みを求める声が寄せられるようになってきている。利用者ではない市民の声を拾うべき
である、そもそも設定した評価基準値（目標値）が適切であったのか、といった指摘を
例として挙げることができるだろう。指摘を受け、図書館は成果指標の達成に向けた重
点施策の検討などに努めている。これらの活動を協議会としては肯定し、奨励したい。

人口減少社会を迎えて、自治体は住民の「足による投票」（転出入による人口増減）と
いう試練を受け続けている。図書館がその一翼を担う教育・文化の充実は住民の転出を
押しとどめる重要な施策である¹²。周辺自治体が図書館についてさまざまな取り組みを
行っている以上、相模原市として現場にいる図書館員の努力だけではなく、改めて包括
的な経営計画を構築すべき状況に至っていると考える。具体的には、相模原市として図
書館行政の目標の設定、その目標の達成に必要な十分なリソースの投入、さらに目標の達
成に至る経営計画の策定が求められる。

以上の点を踏まえて、図書館協議会は図書館の努力と一定の成果は認めるが、総合評
価は成果指標の達成状況を重視して（1）の通り評価した。資料編には、各協議会委員
から寄せられた意見を整理して掲載している。多方面への意見が寄せられており、参考
にしていいただければ幸いである。

12 総務省行政評価局「地域活性化に関する行政評価・監視結果報告書」総務省、2016.452p.
https://www.soumu.go.jp/main_content/000431927.pdf p.88-90,106 参照

資料編

資料編

1 第2次相模原市図書館基本計画「第6章 計画の推進に向けて」

1 成果指標

指標	単位	現状値	目標値 (令和9年度)	指標の説明	主に対応する 基本目標	
1	登録状況					
	市民登録率	%	22.7	25.0	図書館サービスの向上により市民の図書館利用がどの程度促進されたか測る指標	1・2・3・4
	18歳以下の子どもの登録率	%	30.4	33.0		3
新規登録者数	人	15,839	16,200	1・2・3・4		
2	来館者数	人	1,870,491	1,913,000		1・2・3・4
3	利用者の満足度	%	71.8	80.0	利用者のニーズにどの程度応えているか測る指標	1・2・3・4
4	図書館ホームページの一日平均アクセス数	件	29,230	30,000	インターネットによるサービスや情報提供がどの程度活用されているか測る指標	1・2・3・4
5	レファレンスの受付件数	件	35,870	39,000	市民や地域の課題解決にどの程度貢献しているか測る指標	2・4
6	地域資料の蔵書数	冊	79,010	92,500	本市に関する資料の収集が十分に行われているか測る指標	2・4
7	一般向け講座・講演会等の参加者数	人	2,243	2,600	市民に生涯学習の機会をどの程度提供しているか測る指標	2
8	「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した小・中学生の割合	%	69.0	75.0	子どもの読書への関心を測る指標	3

※市立図書館の再整備の際には目標値の見直しを検討する。

※現状値について、指標の1～3、5～7は平成30年度。4及び8は令和元年度。

2 進行管理

この計画を着実に推進するため、図書館法第7条の3の規定に基づく運営の状況に関する評価とあわせ、年度ごとに取組状況の評価を行い、進行管理するものとします。

評価は、成果指標に加え各種統計、利用者アンケート等を活用し、3図書館による内部評価と図書館協議会委員による外部評価を実施します。

また、評価結果を市民に提供するとともに、この計画の事業等の推進に活用します。

なお、計画策定後の社会情勢、図書館を取り巻く環境の変化等に応じ、適宜、計画の見直しを行っていきます。

※図書館法（昭和25年法律第118号）

（運営の状況に関する評価等）

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

相模原市立図書館利用者アンケート 集計結果

I 利用者アンケートについて

1 調査の目的

「第2次相模原市図書館基本計画」の推進のため、利用者の皆様からご意見をいただき、今後の図書館運営や図書館サービスの向上に役立てることを目的に実施しました。

2 調査概要

調査対象	概ね高校生以上の図書館及び図書室利用者
調査方法	・ 来館（室）者にアンケート用紙を手渡しで配布し、 随時回収 ・ 相模原市ホームページに、Web 回答フォームを設置
調査期間	令和7年4月22日（火）～5月18日（日）
調査場所	（1）各図書館 （市立図書館、相武台分館、相模大野図書館、橋本図書館） （2）公民館等図書室（7室） ・ 【緑区】 相原公民館、串川ひがし地域センター図書室 ・ 【中央区】 田名公民館、星が丘公民館、中央公民館 ・ 【南区】 麻溝公民館、大沼公民館 ※公民館等図書室は、令和9年度までの計画期間内に、1室2回程度実施
回答者数	1,231 人 ・ 各図書館 506 人 ・ 各公民館等図書室 220 人 ・ Web 505 人

II 集計結果

1 集計結果を見る上での注意事項

- ・ 各表右下に、回答者数を記載しています。また、複数回答の設問については、回答数もあわせて記載しています。
- ・ 回答分布は、回答者数を基数とした百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問の場合は、回答分布の百分率の合計は通常 100%を超えます。
- ・ 選択肢等の語句が長い場合、表中では一部省略して表現しているものがあります。
- ・ 各設問で、回答数が多い順に 3 項目を網掛けとしています。

2 集計結果

各設問の集計結果は、次のとおりです。

1 図書館や公民館等図書室のサービスについてお聞きします。

問1 あなたは、どのくらいの頻度で図書館や公民館等図書室を利用していますか。

(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 ほぼ毎日	15	1.2%
2 週に 3~4 回程度	58	4.7%
3 週に 1~2 回程度	317	25.8%
4 2~3 週間に 1 回程度	574	46.6%
5 月に 1 回程度	138	11.2%
6 2~3 か月に 1 回程度	65	5.3%
7 年に 1~2 回程度	21	1.7%
8 初めて	5	0.4%
9 その他	13	1.1%
無回答	25	2.0%
合計	1,231	100.0%

回答者数=1,231

○利用頻度について、「4 2~3 週間に 1 回程度」(46.6%) が最も多く、次いで「3 週に 1~2 回程度」(25.8%)、「5 月に 1 回程度」(11.2%) の順となりました。

問2 あなたは、図書館や公民館等図書室をどのような目的で利用していますか。
 (回答はいくつでも)

選択肢	回答数	回答分布
1 本を借りる・返す	1,186	96.3%
2 雑誌を借りる・返す	228	18.5%
3 CD・DVD等を借りる・返す	185	15.0%
4 館内で図書を読む	261	21.2%
5 館内で雑誌を読む	211	17.1%
6 館内で新聞を読む	96	7.8%
7 館内でCD・DVD等を視聴する	13	1.1%
8 館内で学習をする	91	7.4%
9 館内で仕事をする	21	1.7%
10 予約・リクエストをする	392	31.8%
11 調べものをする	164	13.3%
12 調べものの相談をする	32	2.6%
13 コピーサービスを利用する	31	2.5%
14 インターネットを利用する	32	2.6%
15 データベースを利用する	12	1.0%
16 イベント(講座やおはなし会など)に参加する	74	6.0%
17 テーマに沿った特集コーナーなど、本の展示を見る	91	7.4%
18 団体貸出で本を借りる	11	0.9%
19 図書館・公民館等図書室でボランティア活動をする	17	1.4%
20 図書館の貸室を利用して活動に使う	9	0.7%
21 その他	28	2.3%
無回答	20	1.6%

※複数回答設問 回答数=3,205/回答者数=1,231

○利用目的について、「1 本を借りる・返す」(96.3%)が最も多く、
 次いで「10 予約・リクエストをする」(31.8%)、「4 館内で図書を読む」(21.2%)
 の順となりました。

問3 図書館の利用についてお聞きします。あなたが主に利用している相模原市の図書館はどこですか。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 市立図書館（中央区鹿沼台）	307	24.9%
2 相模大野図書館	264	21.4%
3 橋本図書館	269	21.9%
4 相武台分館	114	9.3%
5 図書館は利用していない	186	15.1%
無回答	91	7.4%
合計	1,231	100.0%

回答者数=1,231

○本市図書館の利用状況について、「1 市立図書館」(24.9%)が最も多く、次いで「3 橋本図書館」(21.9%)、「2 相模大野図書館」(21.4%)の順となりました。

問4 問3で1～4（図書館を利用している）と回答した方にお伺いします。あなたは図書館の各サービスについて満足していますか。また、今後の図書館サービスにおいてどの程度重要だとお考えですか。あてはまる項目の数字に○をつけてください。

（満足度・重要度それぞれ回答は1つ）

【満足度（図書館）】

回答項目	選択肢	1	2	3	4	5	6	無回答
		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	わからない	
1 本の品ぞろえ	回答数	188	414	143	134	48	13	14
	回答分布	19.7%	43.4%	15.0%	14.0%	5.0%	1.4%	1.5%
2 雑誌の品ぞろえ	回答数	92	210	215	83	31	262	61
	回答分布	9.6%	22.0%	22.5%	8.7%	3.2%	27.5%	6.4%
3 CD・DVD等の品ぞろえ	回答数	14	61	186	107	78	432	76
	回答分布	1.5%	6.4%	19.5%	11.2%	8.2%	45.3%	8.0%
4 相模原市の行政や地域に関する資料の品ぞろえ	回答数	48	101	203	21	7	498	76
	回答分布	5.0%	10.6%	21.3%	2.2%	0.7%	52.2%	8.0%
5 本等を予約してから提供するまでの時間	回答数	205	230	158	140	48	131	42
	回答分布	21.5%	24.1%	16.6%	14.7%	5.0%	13.7%	4.4%
6 資料の探しやすさ	回答数	170	294	198	98	26	105	63
	回答分布	17.8%	30.8%	20.8%	10.3%	2.7%	11.0%	6.6%
7 館内の検索機の使いやすさ	回答数	193	262	169	86	33	148	63
	回答分布	20.2%	27.5%	17.7%	9.0%	3.5%	15.5%	6.6%
8 職員の知識・対応	回答数	442	284	118	13	7	66	24
	回答分布	46.3%	29.8%	12.4%	1.4%	0.7%	6.9%	2.5%
9 図書館へのアクセス	回答数	488	255	85	62	38	1	25
	回答分布	51.2%	26.7%	8.9%	6.5%	4.0%	0.1%	2.6%
10 図書館ホームページの見やすさ	回答数	141	223	212	80	41	188	69
	回答分布	14.8%	23.4%	22.2%	8.4%	4.3%	19.7%	7.2%
11 調べものの相談への対応	回答数	187	146	146	6	5	404	60
	回答分布	19.6%	15.3%	15.3%	0.6%	0.5%	42.3%	6.3%
12 データベースの品ぞろえ	回答数	57	95	188	20	14	491	89
	回答分布	6.0%	10.0%	19.7%	2.1%	1.5%	51.5%	9.3%
13 館内のインターネット利用環境	回答数	69	106	169	33	18	477	82
	回答分布	7.2%	11.1%	17.7%	3.5%	1.9%	50.0%	8.6%
14 大人向けの講座・講演会等のイベント	回答数	21	37	186	50	21	551	88
	回答分布	2.2%	3.9%	19.5%	5.2%	2.2%	57.8%	9.2%
15 子どもへのサービス	回答数	89	113	134	20	4	501	93
	回答分布	9.3%	11.8%	14.0%	2.1%	0.4%	52.5%	9.7%

16 子育て世代へのサービス	回答数	81	117	149	15	8	492	92
	回答分布	8.5%	12.3%	15.6%	1.6%	0.8%	51.6%	9.6%
17 中・高校生世代へのサービス	回答数	46	57	169	17	2	564	99
	回答分布	4.8%	6.0%	17.7%	1.8%	0.2%	59.1%	10.4%
18 現役世代へのサービス	回答数	54	153	232	32	13	392	78
	回答分布	5.7%	16.0%	24.3%	3.4%	1.4%	41.1%	8.2%
19 シニア世代へのサービス	回答数	50	164	236	32	22	389	61
	回答分布	5.2%	17.2%	24.7%	3.4%	2.3%	40.8%	6.4%
20 障害のある方へのサービス	回答数	22	55	174	15	11	587	90
	回答分布	2.3%	5.8%	18.2%	1.6%	1.2%	61.5%	9.4%
21 外国人市民へのサービス	回答数	15	37	179	6	10	611	96
	回答分布	1.6%	3.9%	18.8%	0.6%	1.0%	64.0%	10.1%
22 図書館報の記事内容	回答数	35	80	195	21	5	527	91
	回答分布	3.7%	8.4%	20.4%	2.2%	0.5%	55.2%	9.5%

回答者数=954

○図書館サービスの満足度について、「満足」と「やや満足」の合計では、「9 図書館へのアクセス」(77.9%)が最も多く、次いで「8 職員の知識・対応」(76.1%)、「1 本の品ぞろえ」(63.1%)の順となりました。

また、「不満」と「やや不満」の合計では、「5 本等を予約してから提供するまでの時間」(19.7%)が最も多く、次いで「3 CD・DVD等の品ぞろえ」(19.4%)、「1本の品ぞろえ」(19.0%)の順となりました。

【重要度（図書館）】

回答項目		1 重要	2 やや重要	3 どちらとも 言えない	4 あまり重要 でない	5 重要ではな い	無回答
1 本の品ぞろえ	回答数	641	211	47	7	3	45
	回答分布	67.2%	22.1%	4.9%	0.7%	0.3%	4.7%
2 雑誌の品ぞろえ	回答数	203	258	225	90	88	90
	回答分布	21.3%	27.0%	23.6%	9.4%	9.2%	9.4%
3 CD・DVD等の品ぞろえ	回答数	109	158	283	116	184	104
	回答分布	11.4%	16.6%	29.7%	12.2%	19.3%	10.9%
4 相模原市の行政や地域 に関する資料の品ぞろえ	回答数	132	195	306	75	136	110
	回答分布	13.8%	20.4%	32.1%	7.9%	14.3%	11.5%
5 本等を予約してから 提供するまでの時間	回答数	312	353	123	52	33	81
	回答分布	32.7%	37.0%	12.9%	5.5%	3.5%	8.5%
6 資料の探しやすさ	回答数	346	328	137	17	31	95
	回答分布	36.3%	34.4%	14.4%	1.8%	3.2%	10.0%
7 館内の検索機の 使いやすさ	回答数	358	294	142	27	38	95
	回答分布	37.5%	30.8%	14.9%	2.8%	4.0%	10.0%
8 職員の知識・対応	回答数	432	322	103	26	8	63
	回答分布	45.3%	33.8%	10.8%	2.7%	0.8%	6.6%
9 図書館へのアクセス	回答数	586	238	62	6	2	60
	回答分布	61.4%	24.9%	6.5%	0.6%	0.2%	6.3%
10 図書館ホームページの 見やすさ	回答数	309	295	167	34	46	103
	回答分布	32.4%	30.9%	17.5%	3.6%	4.8%	10.8%
11 調べものの相談への 対応	回答数	302	238	209	31	74	100
	回答分布	31.7%	24.9%	21.9%	3.2%	7.8%	10.5%
12 データベースの 品ぞろえ	回答数	198	192	304	42	87	131
	回答分布	20.8%	20.1%	31.9%	4.4%	9.1%	13.7%
13 館内のインターネット 利用環境	回答数	195	198	268	54	120	119
	回答分布	20.4%	20.8%	28.1%	5.7%	12.6%	12.5%
14 大人向けの講座・ 講演会等のイベント	回答数	77	177	374	72	136	118
	回答分布	8.1%	18.6%	39.2%	7.5%	14.3%	12.4%
15 子どもへのサービス	回答数	287	197	229	20	95	126
	回答分布	30.1%	20.6%	24.0%	2.1%	10.0%	13.2%

16 子育て世代へのサービス	回答数	306	187	228	18	85	130
	回答分布	32.1%	19.6%	23.9%	1.9%	8.9%	13.6%
17 中・高校生世代へのサービス	回答数	246	196	266	20	92	134
	回答分布	25.8%	20.5%	27.9%	2.1%	9.6%	14.0%
18 現役世代へのサービス	回答数	241	261	250	30	58	114
	回答分布	25.3%	27.4%	26.2%	3.1%	6.1%	11.9%
19 シニア世代へのサービス	回答数	234	260	250	40	73	97
	回答分布	24.5%	27.3%	26.2%	4.2%	7.7%	10.2%
20 障害のある方へのサービス	回答数	314	190	242	16	65	127
	回答分布	32.9%	19.9%	25.4%	1.7%	6.8%	13.3%
21 外国人市民へのサービス	回答数	184	164	329	49	96	132
	回答分布	19.3%	17.2%	34.5%	5.1%	10.1%	13.8%
22 図書館報の記事内容	回答数	113	185	379	50	99	128
	回答分布	11.8%	19.4%	39.7%	5.2%	10.4%	13.4%

回答者数=954

○図書館サービスの重要度について、「重要」と「やや重要」の合計では、「1 本の品ぞろえ」(89.3%)が最も多く、次いで「9 図書館へのアクセス」(86.3%)、「8 職員の知識・対応」(79.1%)の順となりました。

また、「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計では、「3 CD・DVD等の品ぞろえ」(31.5%)が最も多く、次いで「4 相模原市の行政や地域に関する資料の品ぞろえ」(22.2%)、「14 大人向けの講座・講演会等のイベント」(21.8%)の順となりました。

問5 公民館等図書室（公民館や地域センター等にある図書室）の利用について伺います。あなたが主に利用している相模原市の公民館等図書室はどこですか。

（回答はいくつでも）

選択肢	回答数	回答分布
1 公民館図書室	428	34.8%
2 串川ひがし地域センター図書室	54	4.4%
3 青野原図書室	0	0.0%
4 総合学習センター図書室	1	0.1%
5 視覚障害者情報センター	1	0.1%
6 ソレイユさがみ情報コーナー	7	0.6%
7 公民館等図書室は利用していない	486	39.5%
無回答	254	20.6%
合計	1,231	100.0%

回答者数=1,231

○公民館等図書室の利用状況について、「7 公民館等図書室は利用していない」（39.5%）が最も多く、次いで「1 公民館図書室」（34.8%）、「2 串川ひがし地域センター図書室」（4.4%）の順となりました。

問6 問5で1～6（公民館等図書室を利用している）と回答した方にお伺いします。
 あなたは公民館等図書室の各サービスについて満足していますか。また、今後の公民館等図書室のサービスにおいてどの程度重要だとお考えですか。あてはまる項目の数字に○をつけてください。（満足度・重要度それぞれ回答は1つ）

【満足度（公民館等図書室）】

回答項目		1 満足	2 やや満足	3 どちらとも 言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無回答
1 本の品ぞろえ	回答数	52	130	104	118	60	17	10
	回答分布	10.6%	26.5%	21.2%	24.0%	12.2%	3.5%	2.0%
2 本等を予約してから提供するまでの時間	回答数	103	131	74	61	32	65	25
	回答分布	21.0%	26.7%	15.1%	12.4%	6.5%	13.2%	5.1%
3 館内の検索機の使いやすさ	回答数	81	94	97	21	5	157	36
	回答分布	16.5%	19.1%	19.8%	4.3%	1.0%	32.0%	7.3%
4 公民館等図書室職員の対応	回答数	318	91	53	5	2	12	10
	回答分布	64.8%	18.5%	10.8%	1.0%	0.4%	2.4%	2.0%
5 公民館等図書室へのアクセス	回答数	299	111	47	18	5	3	8
	回答分布	60.9%	22.6%	9.6%	3.7%	1.0%	0.6%	1.6%
6 図書館ホームページの見やすさ	回答数	75	85	128	40	18	111	34
	回答分布	15.3%	17.3%	26.1%	8.1%	3.7%	22.6%	6.9%

回答者数=491

○公民館等図書室のサービスの満足度について、「満足」と「やや満足」の合計では、「5 公民館等図書室へのアクセス」（83.5%）が最も多く、次いで「4 公民館等図書室職員の対応」（83.3%）、「2 本等を予約してから提供するまでの時間」（47.7%）の順となりました。

また、「不満」と「やや不満」の合計では、「1 本の品ぞろえ」（36.2%）が最も多く、次いで「2 本等を予約してから提供するまでの時間」（18.9%）、「6 図書館ホームページの見やすさ」（11.8%）の順となりました。

【重要度（公民館等図書室）】

回答項目		1 重要	2 やや重要	3 どちらとも 言えない	4 あまり重要 でない	5 重要ではな い	無回答
1 本の品ぞろえ	回答数	207	141	62	26	9	46
	回答分布	42.2%	28.7%	12.6%	5.3%	1.8%	9.4%
2 本等を予約してから 提供するまでの時間	回答数	167	159	76	24	8	57
	回答分布	34.0%	32.4%	15.5%	4.9%	1.6%	11.6%
3 館内の検索機の 使いやすさ	回答数	98	111	127	33	51	71
	回答分布	20.0%	22.6%	25.9%	6.7%	10.4%	14.5%
4 公民館等図書室職員 の対応	回答数	224	153	51	7	5	51
	回答分布	45.6%	31.2%	10.4%	1.4%	1.0%	10.4%
5 公民館等図書室への アクセス	回答数	284	123	27	8	3	46
	回答分布	57.8%	25.1%	5.5%	1.6%	0.6%	9.4%
6 図書館ホームページの 見やすさ	回答数	146	112	123	18	24	68
	回答分布	29.7%	22.8%	25.1%	3.7%	4.9%	13.8%

回答者数=491

○公民館等図書室のサービスの重要度について、「重要」と「やや重要」の合計では、「5 公民館等図書室へのアクセス」（82.9%）が最も多く、次いで「4 公民館等図書室職員の対応」（76.8%）、「1 本の品ぞろえ」（70.9%）の順となりました。

また、「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計では、「3 館内の検索機の使いやすさ」（17.1%）が最も多く、次いで「6 図書館ホームページの見やすさ」（8.6%）、「1 本の品ぞろえ」（7.1%）、の順となりました。

問7 あなたは、図書館や公民館等図書室のサービスについて、総合的に満足していますか。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 満足	405	32.9%
2 やや満足	566	46.0%
3 どちらとも言えない	121	9.8%
4 やや不満	79	6.4%
5 不満	24	1.9%
無回答	36	2.9%
合計	1,231	100.0%

回答者数=1,231

○総合的な満足度について、「2 やや満足」(46.0%)が最も多く、次いで「1 満足」(32.9%)、「3 どちらとも言えない」(9.8%)となりました。

また、「1 満足」と「2 やや満足」の割合の合計は、78.9%となり、「4 やや不満」と「5 不満」の割合の合計は8.3%となりました。

問8 あなたの生活において、図書館や公民館等図書室の利用が役立っていると思うのはどのようなことですか。(回答はいくつでも)

選択肢	回答数	回答分布
1 趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている	960	78.0%
2 家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている	618	50.2%
3 仕事に役立つ知識・情報が得られている	319	25.9%
4 学校での課題や宿題に役立つ知識・情報が得られている	79	6.4%
5 地域の歴史や文化、行政情報などを知ることができる	185	15.0%
6 個人や地域の課題解決支援に役立っている	102	8.3%
7 子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている	313	25.4%
8 ゆっくりと余暇を過ごすことができる	475	38.6%
9 学びを通じた交流や学びの成果を生かす場がある	62	5.0%
10 地域において親しみやすい居場所となっている	298	24.2%
11 特になし	19	1.5%
12 その他	42	3.4%
無回答	55	4.5%

※複数回答設問 回答数=3,527／回答者数=1,231

○図書館や公民館等図書室の利用が役立っていると思うことについて、「1 趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」(78.0%)が最も多く、次いで「2 家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている」(50.2%)、「8 ゆっくりと余暇を過ごすことができる」(38.6%)の順となりました。

問9 あなたが、今後図書館において積極的に取り組んでほしいことは何ですか。
 (回答はいくつでも)

選択肢	回答数	回答分布
1 多種多様な資料の収集・提供	538	43.7%
2 快適な読書環境の整備	456	37.0%
3 Wi-Fi 環境の整備	224	18.2%
4 飲食できるスペースの設置	227	18.4%
5 ICT を使いグループ学習や話し合いなど多様な活動に対応できるスペースの整備	46	3.7%
6 図書館・公民館等図書室以外で、貸出や返却が行える場所の整備	361	29.3%
7 図書館・公民館等図書室へ来るのが困難な方向けの貸出サービスの検討	278	22.6%
8 子どもへのサービスの充実	238	19.3%
9 子育て世代へのサービスの充実	218	17.7%
10 中・高校生世代へのサービスの充実	168	13.6%
11 現役世代へのサービスの充実	156	12.7%
12 シニア世代へのサービスの充実	317	25.8%
13 障害のある方へのサービス	161	13.1%
14 外国人市民へのサービス	96	7.8%
15 子どもの読書活動を支える人への支援	191	15.5%
16 IC タグを活用したサービスの導入	71	5.8%
17 調べものへの支援	108	8.8%
18 情報活用能力向上の支援	64	5.2%
19 地域資料の収集・活用・提供	80	6.5%
20 講座や講演会の充実	163	13.2%
21 世代間など多様な交流の機会・場の提供	91	7.4%
22 特になし	61	5.0%
23 その他	106	8.6%
無回答	70	5.7%

※複数回答設問 回答数=4,489／回答者数=1,231

○今後図書館において積極的に取り組んでほしいことについて、「1 多種多様な資料の収集・提供」(43.7%)が最も多く、次いで「2 快適な読書環境の整備」(37.0%)、「6 図書館・公民館等図書室以外で、貸出や返却が行える場所の整備」(29.3%)の順となりました。

2 あなた自身についてお聞きします。

問 10 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 19歳以下	20	1.6%
2 20～29歳	32	2.6%
3 30～39歳	119	9.7%
4 40～49歳	166	13.5%
5 50～59歳	195	15.8%
6 60～69歳	260	21.1%
7 70歳以上	398	32.3%
無回答	41	3.3%
合計	1,231	100.0%

回答者数=1,231

○回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問 11 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 事業主	32	2.6%
2 自由業	41	3.3%
3 会社員、公務員、団体職員	273	22.2%
4 契約社員、派遣社員、 パートタイマー、アルバイト	239	19.4%
5 家事専業	230	18.7%
6 学生	29	2.4%
7 無職	317	25.8%
8 その他	25	2.0%
無回答	45	3.7%
合計	1,231	100.0%

回答者数=1,231

○回答された方の職業は以上のとおりです。

問 12 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 橋本地区	153	12.4%
2 大沢地区	13	1.1%
3 城山地区	12	1.0%
4 津久井地区	57	4.6%
5 相模湖地区	0	0.0%
6 藤野地区	0	0.0%
7 小山地区	15	1.2%
8 清新地区	12	1.0%
9 横山地区	8	0.6%
10 中央地区	152	12.3%
11 星が丘地区	24	1.9%
12 光が丘地区	21	1.7%
13 大野北地区	85	6.9%
14 田名地区	73	5.9%
15 上溝地区	24	1.9%
16 大野中地区	62	5.0%
17 大野南地区	180	14.6%
18 麻溝地区	54	4.4%
19 新磯地区	14	1.1%
20 相模台地区	39	3.2%
21 相武台地区	79	7.8%
22 東林地区	24	2.5%
23 神奈川県内	34	2.6%
24 神奈川県外	49	3.2%
無回答	47	4.5%
合計	1,231	100.0%

回答者数=1,231

○回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

問 13 最後に、図書館や公民館等図書室のサービスに関して、ご意見やご要望がございましたらご記入ください。

選択肢	回答数	回答分布
1 サービスについて	209	37.4%
2 運営について	114	20.4%
3 資料について	193	34.5%
4 職員について	53	9.5%
5 施設・設備について	102	18.2%
6 その他	72	12.9%

※複数回答設問 回答数=743／回答者数=559

○図書館や公民館等図書室のサービスに関するご意見やご要望について、559人の方から、743件の回答がありました（お1人の回答に複数の観点がある場合、観点ごとに件数を計上）。

回答された内容について項目別に分類すると、「1 サービスについて」（37.4%）が最も多く、次いで「3 資料について」（34.5%）、「2 運営について」（20.4%）の順となりました。

問 13 の主なご意見・ご要望（各項目で件数が多かった内容から抜粋）

1 図書館サービスについて

①貸出・返却、②予約・リクエスト、③図書館システム、④図書館の事業に関する意見が多く寄せられました。

①貸出・返却

- ・ 八王子市も20冊上限になり便利になったので、相模原市も上限を増やしてほしいです。
- ・ 相模大野駅の返却ボックスができて非常に助かっている、継続して欲しい。返却だけ先行してできるようになったので今までより返却がはやくできるようになった。
- ・ 借りたCDの返却をどこの図書館でもできるようにしてくれると助かります。もし、そうなら、市立図書館や橋本図書館でも利用したいと思います。難しいのであれば、年に2回ほど行う、CDを一定期間、別の図書館において貸し出しをするサービスを充実して欲しいと思います。
- ・ 相模原駅あたりにでも返却施設がほしい。延長後の借り直しもネットでできるようにしてほしい。仕事から帰りに図書館等によりたいのももう少し遅い時間まで、貸出返却の機能だけでもなんとかかなると嬉しい。
- ・ いつも利用させていただき、様々な本を予約できたり無料で借りられることに感謝しています。また私は小学校教諭なのですが、学習で図書館の資料を借りら

れる団体貸し出しも利用でき助かっています。小学校の学校図書館だけでは蔵書数が限られるので、市立図書館と今後も連携できたらと考えています。

- ・ 歩いて図書館に行っている私ですが、将来歩けなくなったら本を借りられないと思うと悲しいです。図書館に行けなくても本を借りられるようになったらいいなと思います。

②予約・リクエスト

- ・ 図書館にない本について、ホームページでリクエストができれば便利だと思います。このようなアンケートに1年に1人1冊記入する欄があってもよいかもしれません。購入するかどうかはご検討していただくとして、多種多様な資料の提供の手がかりになるかもしれないと思いました。
- ・ 人気の本は数ヶ月先になることがざらなので10冊の制限を撤廃して予約できる本数を増やして欲しい。
- ・ 人気の本は予約してからお借りするまで時間がかかる。冊数を増やすなど対処して欲しい。
- ・ 予約した本がもう少し早くくるといいが、大量に購入もできないと思います。
- ・ 漫画、CDを予約できるようにしてほしい。市内の他館の漫画、CDも借りられるようにしてほしい。
- ・ リクエストの本の提供を、もっと早くして欲しい。
- ・ いつも公民館で子供の絵本を借りています。取り寄せサービスにより、更に多くの絵本と出会うことが出来ました。本当に助かっています。

③図書館システム

- ・ PCでの検索速度がUPして助かりました。
- ・ ホームページが使いにくいです。予約の為使用するマイライブラリーが時々アクセス不通になったり、予約の手順が非能率的に思えますが改善の余地ありでは？
- ・ 図書館ホームページのログインの有効期限が短いと感じるのでもう少し長くしてほしい。ログインした後トップに戻って資料検索し予約しようとしたらもうログインの期限が切れているので、10分程度は有効にして頂けると助かります。
- ・ 資料の検索機能の改善を望む。現在あるが、多くの項目を入力しないと結果が出てこない。
- ・ 本を検索する時チョツとした間違いでもできない。推測する機能が強化されれば助かります。
- ・ 年数回、町田市立図書館の中央図書館を利用しますが、自動貸出機が便利だと思います。

④図書館の事業

- ・ 未就学児が参加できるイベントを定期、不定期どちらもより多く開催してほしいです。お話し会の申し込み後原則毎回参加という形式は先の予定がたっていないため参加しづらいです。
- ・ いつもお世話になりありがとうございます。子どもが小学生になり、少しずつ読み物から離れてしまっているので、何か興味を持てるイベントをお願いしたいです。よろしく願い致します。
- ・ 銀河連邦に属する自治体の図書館同士の連携を検討してほしい。
- ・ 音楽の本と楽器（始めるきっかけになる）のレンタルがあると面白いと思います。
- ・ 子どもから大人まで全世代が集えるような催しがあるといいなあ！！
- ・ 選択肢としてあがっている講座や講演会などあったら良いですね。なるべく世代を区切らずどんな人にも興味を持たれるようなテーマだと理想的だと思います。

す。(文学などはそういったものになり得るのでは) 図書館がそんな開かれた「知」の場所であってほしいです。

2 運営について

①図書館や図書室の運営や役割、②相武台分館の今後のあり方、③開館時間・休館日に関する意見が多く寄せられました。

①図書館や図書室の運営や役割

- ・ 本好き、時間のある高齢者だけでなく、子育て世代、若い人、子供が進んでやって来る図書館になって欲しいと思います。
- ・ 那須塩原市の「みるる」という図書館が居心地も良く人々の循環もあり、とても良かったです。あのような雰囲気はレイアウトで決まるのか何で作られるのかはわかりませんが、図書館が一部の読者好きな人、休憩するために利用する人の閉鎖的な空間でなく、開かれたかつ治安の乱れないような図書館を希望しています。
- ・ 図書館のイメージは静かに本を読む所だと思うが、小さな子どもたちもたくさん来てもらい、“たのしい図書館”というふうになってもらいたいと思う。“キッズルーム”みたいな音がもれにくい room を作ったり、中学生や高校生の行き場・集まる所をつくってもいいのではと思う。(あまりお金のかからない集まりやすい所) ゲームができる所があってもいいと思う。お年寄りも集まりやすい、体操教室や卓球場、パソコン教室、ミニシアターなど趣味を楽しめる所があるといいと思う。ぜひ“たのしい図書館”を作ってもらいたい。もちろん静かな図書館のブースもあって下さいね。
- ・ リニアが通る町に相応しい、おしゃれで、ゆったりとした居心地の良い、明るく広い空間の図書館を希望します。
- ・ 図書館を運営するのに多額の税金が必要なのはわかっているが、市の広さに対して、図書館(図書室)の数があまりにも少なすぎると感じます。子どもを気軽に1人で行かせられないのがとても残念です。図書室もとてもせまく、その中で絵本・児童書が充実しているのは助かりますが、大人用の本が少なく、新しい本に出会う機会がない。もっと図書館の数、広さを充実させてほしいです。
- ・ 自分の足で、目で選んで利用させて戴いています。今の所は徒歩で30分(片道)を運動を兼ねて公民館まで行けますが、それが困難になった時の事を考えると、何とかできないかなと、今から思います。将来、移動図書館が出来れば嬉しいですが(月1度でも、貸出は4週間となります)

②相武台分館のあり方

- ・ 相武台分館を無くさないでください！子どもがいるためお話会があることや絵本を読んだり借りられることのありがたみをととても感じています。子が成長する過程でも存続して欲しいと願ってやみません。クラウドファンディングや寄付を募っていただければ参画します。相武台分館が近くにあることは生活に彩りを与えてくれています。相武台に住んでよかったと思う一因です。子どもにも読書が身近な生活を送って欲しいと思っています。どうしても分館を潰さなければならぬのであればせめてこれからの未来ある子どもたちのための読み聞かせや子ども向け蔵書が多めな代替サービス(公民館図書室?)を求めます。どうかよろしく願います。
- ・ 今後も図書館を利用させていただきたいので、相武台分館を今後も維持していただけたらうれしいです。何か調べ物や読書をしたい時に気軽に行ける相武台分館はととてもありがたいです。

- ・ 多くの人が利用できる環境整備が期待されます。近くに利用できる駐車場があると機会が増えると思います。南区は文化施設が少なく分館が貴重な住民の為の拠点だと思っています。
- ・ 相武台分館に駐車場があったらより多くの人が利用できると思います。
- ・ 相武台の図書館はなくては困るのでもなくならないでほしい。本の種類は少ないし、CDは無くて雑誌も少なかったりするけれど、市内の図書館から取り寄せできて子供にもお金をかけずにいろいろな本に触れ合わせることができてとても助かっています。近くに図書館があるのでここに引っ越してきてよかったと思いました。おはなし会も隔週でやっていて毎回楽しみにしています。この地域は子供たちも少なく公園行っても人いないし、子供にとっても図書館がないと本当に何も無い所になってしまいます。憩いの場でもあります。子育て支援だと思ってこれからも永くあって欲しいです。
- ・ 相武台分館の存続をお願いしたいです。場所を移転するなら、今の位置から徒歩圏内にしてほしいです。
- ・ 自宅から徒歩5分の所に図書館がありとてもラッキーです。70才代になったのであとどれくらい、通えるかわかりませんがとにかく相武台図書館を無くさないで下さい。
- ・ 相武台分館の閉館を現在地での存続を強く希望します。市が公表している行財政改革プランは理解できますが市内でも特に高齢者が多い地域です。(もちろん子どものためではありますが)ここでの交流や「おはなし会」などにも沢山の意味はあると思います。その機会を奪ってはならないではありませんか？中高生たちの学習の場、子育て世代の若者たちが絵本と触れ合う場も然りです。どうか考え直して下さい。カウンターの皆さんの対応には、大変満足しています。
- ・ 相武台分館が老きゅう化して、閉館が予定されており、その後の公民館等に図書室になると、在庫本が少なくなり、リクエストでの手続きとなり入手まで手まどることが、心配です。
- ・ 相武台分館の廃止に反対します。老朽化の場合は、代替として公民館への移転等近隣での継続を望みます。

③開館時間・休館日

- ・ 年末年始の休みをなるべく短くしてほしい。年末年始期間は、図書館をゆっくり利用したい。長期の休館は影響が大きいので、避けてほしい。土日祝日は9時から(できればなるべく早く)開館してほしい。
- ・ 土日の閉館時間が早い。平日と同じがよい。
- ・ 平日の遅い時間まで利用できるのも助かっています。
- ・ 難しいかも知れませんが、休曜日を固定となっていますが、週により変更してほしいです。予約していた本が届き受け取りに行こうとした際、仕事の休みと図書館の休みの曜日が重なり、受け取り期限を過ぎてしまうことが複数あり残念です。
- ・ 開室時間の延長 公民館の図書室を18時ごろまでにして欲しい。現在17時ごろまでが大部分であるが、利用出来る人が大幅に制限されてしまっている。仕事帰りに利用出来るようにして欲しい。

3 資料について

①図書(本・雑誌)の充実、②資料の管理、③視聴覚資料の充実、④展示等による資料の紹介、⑤書架や配架の状況に関する意見が多く寄せられました。

①図書(本・雑誌)の充実

- ・ いつもありがとうございます。子どもを連れて市立図書館をよく利用しています。最近、市立図書館の子育て支援のコーナーが整えられ、嬉しく感じました。

絵本の品揃えは満足しています。(古かったり汚れていたりする本は新しくしてほしいですが…) 子育てに関する情報は日々新しくなっているので、少しずつでも新しい本を揃えていただきたいです。また、子育て系の雑誌もこれからも継続して購入してほしいです。

- ・ 外国人住民に対しての、日本語の勉強の資料、外国語の新聞雑誌、ひらがなをふった図書館の案内。国際交流ラウンジのフェスティバルで図書館の案内をしてほしい。外国人の利用者が少ない。
- ・ 雑誌のスポンサー制度を活用して、雑誌の種類を増やして下さい。(例 三菱重工ダイナボアーズ提供 ラグビーマガジン 等)
- ・ 図書館に関連するサービスを決して縮小させることのないようお願いしたいです。最近、雑誌の購入等がシュリンクしているように感じます。財政面で厳しいことは十分承知しているが、ネットで情報収集することが主流となっている今だからこそ、書籍の重要性をしっかりと発信してほしい。
- ・ 相模原市はかりにも政令指定都市でしょう？もう少し専門書を充実させて頂きたいと思います。もちろんそれには予算が必要になりますが、ほかの政令指定都市(東京、横浜、川崎など)の公立図書館はもっと専門書があるように思いますのでよろしくお願いします。
- ・ だんだん本の種類等が少なくなってきたように感じられます。予算の問題もあるとは思いますが、ベストセラーものに偏りすぎているような(それも冊数が少ないので予約しても何ヶ月も読めないことが多い)、ちょっと専門的、ビジネス的な本になると検索してもないことが多く、がっかりすることも増えてきました。相模原市全般にいえることですが、もっと文化的なことに予算を割いていただけたら、と思います。
- ・ 古い本、古いシリーズ版がそろっていない時がある。古い本も集めてもらいたい。
- ・ 新着図書が少し前のものなので、予算もあるのですが、最新のを揃えてほしい。電子書籍やデジタルコンテンツは充実してきているのでとてもありがたい。他の市も含め郷土資料が古いものばかりで更新されていないので、全く活用できない。
- ・ 近くの公民館等図書室は、図書館に比べると品ぞろえが少なく感じられるのですが、昔に比べて新しい本もだいぶ増えた気がします。とてもありがたいです。これからも頑張ってください！

②資料の管理

- ・ 経年劣化ではない本の汚れがとても目立ちます。水濡れ、飲食による汚れ等、借りる側のモラルをもっと厳しく問うて欲しいです。すぐくむずかしい事だと思いますが、公共のものを借りている、きちんと返す…というシステムを作って欲しいです。
- ・ いつも子どもと利用させていただいています。旅行が好きで、日本各地の観光情報を集めているのですが、古いものがほとんどで参考になりません。新しいものを入れていただけると嬉しいです。
- ・ 今注目されている事を調べる時に新しい本がないので、最新の本を早めに入れて欲しい。例えば、3Dプリンタについて調べたら最新刊が5年以上前で情報が古いなど。
- ・ 読書が大好きで、2日で1冊ほど読んでしまうのでリクエストが10冊しかできないのが残念です。今は宇宙の事に興味があり本を借りていますが、発行年が少し古い本が多い様に思います。
- ・ よく、借りられない本が書庫に入っているが、時間との関係で書庫請求ができない時がある。そんな時、書庫に眠っている本を開架の図書と定期的に少しずつ入れ替えていただけると気になっていた書庫の本が借りることができてうれし

い。特に、マイナーな作家の本だと書庫に入っていることが多いので、そういった人の作品も楽しみたいと思う。

- ・ 上溝公民館では貸出前後に本のチェックをしているが、他の図書館で借りた本にはよくしおりやなにか違うものが挟まっていたらしているのが気になる。

③書架や配架の状況

- ・ 退職后市立（鹿沼台）図書館に通うようになった。無料駐車場があつてとても助かるが、図書の配列は、橋本のほうが整然として見やすく探しやすい気がする。孫や子供世代のコーナーはどちらも充実していると感じます。
- ・ 相模大野図書館の本の配置について。子どもがいるため、子どもフロアと大人のフロアの行き来がしづらく自分の読書ができないでいる。育児や料理本などオーバーラップする本を期間限定のコーナーでもいいので子どもフロアにおいてもらえたら嬉しい。
- ・ 乳幼児用の絵本はなるべく表紙が見えるように展示していただくと、うれしいです。
- ・ 本棚の下の方にある本が見つらい。
- ・ 文庫本の蔵書を増やすと共に、文庫本の開架場所も増やして欲しいです。

④視聴覚資料の充実

- ・ CDとDVDは子供向けシニア向けの品揃えをもっと増やしていいと思います。
- ・ 他館の視聴覚資料を借りられるようにして欲しい。全集ものの視聴覚資料のバックアップなどができないでしょうか。CDのバッハ全集などに欠番があるのは残念です。
- ・ 駅前（橋本図書館）にあり、とても便利です。スタッフの方々の対応も良いと思います。これからも利用しますので、色々なジャンルの本、そろえて下さい。映画DVDが少なく、ビデオばかりです。できれば名作映画のDVDなどそろえてほしいです。
- ・ 音楽のCDをもう少し新しいものとか、数をふやしてもらいたい。同様に映画も。

⑤展示等による資料の紹介

- ・ 市立図書館を主に利用していますが、入口近くの台にある日替わりの「今日のお薦め本」コーナーをいつも楽しみにしています。図書のプロならではの司書さん目線で選ばれた本（おそらく自分では探せない辿り着けない選ばれた数冊）には説得力があり、素敵な本との出会いに感謝しています。しかしながら、タイトル通り「今日」一日限りの紹介なのが残念！勿体ないと思います。
- ・ 新作本の紹介をお願いします。お勧めの本の紹介。1つの本に対する、感想の紹介、他の人の感想を知る機会。
- ・ 「本屋大賞」の特集コーナーは今までにありましたっけ？それに限らず、各種賞レースの受賞作やノミネート作も含めここ数年度の一覧表などあれば良いなと思います。
- ・ 4階の子ども向けの本の中にも、面白いものがあり、リクエストしたり、貸出してもらっています。特にシニア向けの本というコーナーがないのですが、司書の方々がシニア向けに選ぶ本なのかと興味があります。特設コーナーを作ってみて頂けませんか。

4 職員について

①職員の対応に関する意見が多く寄せられました。

①職員の対応

- ・ 図書館は蔵書が充実しているけれど、子どもを1人で行かせるのは近所の図書室（公民館）まで。公民館主催のイベントや地域のイベントに参加した流れで、公民館の方に多少顔を覚えてもらっているようで、声かけしていただくこともあり、働いている親としてはとてもありがたいなあと思っています。図書室のスタッフの方は親しみやすく、探し物も手伝っていただいたりと、こちらもいつも感謝でいっぱいです。
- ・ 予約した本を頼みやすい。司書の人からいろいろ情報をいただけるのがうれしいです。座間の図書館へ行かなくてすむので私には役立っている図書館です。
- ・ 先日、探していた本がわからず、たずねたらその場所へ案内して下さい、又、在庫があるか検索して持って来て下さいました。更に、新刊があったと案内してくださった。その対応に感謝するとともに頼もしく思いました。
- ・ 司書さんの対応についてお願いしたいのですが最近が高齢者の利用多く見うけられます。高齢になると相手の話が聞きづらくなり繰り返し繰り返し聞くのが辛くなり、聞こえたふりをしてしまう事が多くなります。こちらもイライラする事がありますのでその時は相談せずシッカリ対応して頂ける司書さんが回って来るまで待つこととなります。「囁く様」な「呟く様」な声では相手に伝わりません。言葉はハッキリ、シッカリ伝わる様に目で確認する様な気持ちでお願いします。
- ・ 私語を大きな声でしているスタッフを特に見受けませんが殆どのスタッフが誠意を持って対応して下さいています。

5 施設・設備について

①利用スペース、②施設全般、③設備、④立地・アクセスに関する意見が多く寄せられました。

①利用スペース

- ・ 飲食できるスペースがあるととても有難いと思います。最近の夏は暑すぎて図書館に子どもとお世話になる機会が多いのであるととても助かります。
- ・ いつも橋本図書館を子供と利用しています。赤ちゃん絵本などが置かれている靴を脱いで使用する場所で読み聞かせをしている親子が多くみられます。借りる本を選びたいのにスペースがない時があるので、絵本のカーペットスペースを広くするか、混雑時は椅子に移動を促す表示が欲しいです。
- ・ 現状読書をする部屋はあるが、PCの利用が出来なかったり、若い人が気軽に使う環境になっておらず、高齢者が新聞を読んでいたりと使いづらい。Wi-Fi環境を整備し、PCの利用含む自習スペースがあると良い。
- ・ 新聞を見ているのですがひざの上に新聞をのせているとページをめくる時に、新聞がさけたり、粗末になる。テーブルの上で見るのがふつうだと思うのだが是非、テーブルを用意してもらえると、ありがたいです。
- ・ 図書館の学習スペースのみ、遅くまで利用できるとよい。平日 22:00 までとか。愛媛の西条付近に出張していたとき、仕事の合間で勉強するのに西条図書館 22:00 までの学習で使用して、非常に便利だった。

②施設全般

- ・ 読書スペース、ブラインダーの隙間から光がさして眩しいし、暑くて本が読めない。机のスペースも足りない。

- ・ 市立図書館を主に利用しています。入口付近から館内が明るくて静かで居心地の良い場所ですが近頃は耐震が気になります。
- ・ 現在、駐車場から出る道路が狭く、人が車道を歩いていたりして危険である。将来建て替える場合は周辺道路の安全性を考慮してほしい。
- ・ 相模大野図書館：室内温度がいつも高く、特に冬場は暖房が効きすぎて気持ち悪くなることがあります。風通しも悪いようで、空気がよどんでいます。適宜窓を開けるなどして、快適な室温を保っていただけるとありがたいです。
- ・ ソレイユさがみ：広々として居心地は良いです。夏場は日差しが強い日は暑いですが。遮光遮熱対策をお願いしたいです。カーテンだけでは厳しいと思われます。

③設備

- ・ 子どものトイレを増やしてほしい。
- ・ トイレの設備が古い、狭い。改善して欲しいです。清潔さは問題ない。
- ・ 橋本図書館の、子どもの本が置いてあるスペースの机がもっと大きいと読みやすいなと思います（または小型のものを複数個に変更）。他の人が使っていると距離が近くなってしまい、気になります。また、小学生以下も宿題や勉強ができるようなスペースがあると、利用の幅が広がるなと思います。
- ・ ゆったり出来るイス、ソファ等があればと思います（腰痛 体調良くない時特に感じます）
- ・ ミウイ橋本の中に図書館があり、雰囲気明るく利用しやすいので気に入っています。コロナが落ち着き、除菌機を使う人は減ったかもしれませんが、これからも設置しておいて欲しいと思っています。

④立地・アクセス

- ・ 相模大野図書館は伊勢丹閉店後しばらくアクセスが悪いですが、工事が終わった後は駅からアクセスしやすくなることを期待しています。
- ・ よく橋本図書館を利用しています。立地やアクセスはとても良いのですが図書館として十分なスペースがあるとは思えない。また駐車場は有料だし駐輪場さえなかなかとめられないのが不満です。
- ・ 星が丘公民館図書室は改装して1階に移動してアクセスしやすくなりました。今まで市立図書館まで行っていたけど、本の冊数は負けますが十分利用しやすいと思います。もっと周知されればいいのになと思います。
- ・ 住まいが公民館に散歩がてら行くのに丁度良い場所にあり、再々利用させて頂いています。橋本まで行くにはバスも使わなくてはならないので、歩いて行ける距離に公民館があるのはラッキーだと思います。

6 その他

利用者ご自身の利用状況等についてのご意見をいただきました。

- ・ 2週間ごとに相模大野中央図書館に行き、子どもの本を借りています。おかげさまで、毎日の寝る前の読み聞かせが充実し、親子の大切なコミュニケーションの時間となっており、子どもたちの語彙力や読む力の高まりも実感しています。
- ・ いつも利用させて頂きありがとうございます。子供はお話会を大変たのしみにしており、幼児の時から本にふれさせていた為、本が大好きです。私自身も子供が本と共に成長できる姿をたのしみとしています。この近くに図書館があることで、充実した日々をすごせています。

- ・ いつも色々な本を貸していただき、ありがとうございます。専門的な知識が得られる本がたくさんあるのが嬉しいです。これからもたくさん親子で利用させていただきます。
- ・ いつもありがとうございます。新しい発見や憩いの場となるような図書館がこれからも続くといいなと思います
- ・ 無料で多種多様な本が読める図書館はありがたい場所だと本当に思います。幼い頃から橋本に住んでいて、橋本図書館にはずっとお世話になっていましたが、大人になり久しぶりに利用して改めて図書館のすばらしさを感じました。特に橋本図書館はいつも綺麗に整頓されていて、職員さんの努力を感じます。
- ・ 昨年、定年退職をしてから、図書館を利用しております。ありがたい事と思っております。一人 10 冊まで 2 週間様々な本を通して日々の生活にうるおいを与えている事業。これからの高齢化社会にますます充実したものとなりますよう願っております。

3 各委員の意見

(1) 内部評価（成果指標）について

- ・ 昨年度と同様、成果指標 10 項目のうち、達成できた項目が 1 つであることが憂慮される。中でも、「市民登録率」と「18 歳以下の子どもの登録率」の低さが目立って大きな課題である。この点を昨年度も指摘したが、昨年度実績よりも低くなっていることが気がかりである。未登録者が相当数いることに加え、転入者が毎年 3 万人前後いることを考えると、「新規登録者」数も十分とは言えないと思われる。改善に向けた地道な取り組みが必要である。他方、システム更新に伴い、開館日数が 12 日減少したことを考慮すると、1 日あたりの「来館者数」(4,864 人→4873 人)は微増、「レファレンスの受付件数」「一般向け講座・講演会等の参加者数」が増加している点は評価できる。
- ・ 利用者の満足度が前年比で上がっていることは日頃の地道な取組の成果だと思う。
- ・ 一般向け講座・講演会等の参加者数が大きく上がっており、各館の工夫が成果として現れ、評価できる。特に相模大野図書館の幅広い年代に向けた取組は参考になると思われる。
- ・ 図書館ホームページの一日平均アクセス数は前年度より上がっているものの、目標値には遠く及ばない。目標値の見直しや集計方法の見直しが必要だと思う。
- ・ 様々な取組で市民登録率を上げていきたい。
- ・ 利用者の満足度がいずれの館でも上昇している。特に相模大野図書館での向上が目立つ。上昇要因は何なのかを分析し、他館にも取り入れ、波及効果を期待する。
- ・ 「7 レファレンスの受付件数」「9 講演会参加人数」も相模大野図書館は飛躍的に伸びている。素晴らしい。
- ・ 「10 読書は好きです」という割合をどんどん伸ばしてほしい。数値を見る限り寂しいと感じる。図書館は興味の扉であり、知識の宝庫であることを活かしてほしい。
- ・ 「特に13～18歳の減少率が高い」点が課題である。
- ・ 予算が増加し蔵書数も増えたにもかかわらず、貸出者数及び貸出点数は減少している。要因として、開館日数や猛暑による外出を控える傾向にあったこの夏の影響は大きいと考えている。
- ・ 様々な努力をしている中で、評価基準値に満たない数値が出てしまうのは今後の課題にはなるが、もともとの評価基準値（目標値）の設定が高すぎることはないだろうかとも考える。

(2) 内部評価（施策の取組状況）について

- ・ 「図書館3館の司書専門職によるワーキンググループを立ち上げた」点が評価できる。
- ・ 基本目標2と3が全て○なのは評価できるが、逆に何が課題か分からなくなってい

る。

(3) 内部評価（基本統計の検証）について

- ・ 図書館機能強化分として増額された予算で図書の買い替えや新規購入に全館で取り組み、蔵書の鮮度を上げることができたことは評価できる。
- ・ 図書館サービスの基本である蔵書構築に関して、図書館資料費を増額して蔵書新鮮度を高められたことは評価できる。他方、昨年度も指摘したが、蔵書回転率が昨年度よりもさらに 0.1 ポイント減少して 1.4 回にとどまるなど、決して高いとは言えない。関係各課、他機関と連携した企画展示の実施など、その努力のあとが見られるが、資料利用にかかる活動の一層の展開を期待したい。
- ・ 視聴覚資料についての抜本的見直しは必要だと思う。

(4) 各図書館による自己評価について

■市立図書館

- ・ 基本目標 2 に関連して、地域の大学と連携した展示やイベントなどを積極的に推進している点は高く評価できる。
- ・ 市立図書館の高校生ボランティアの取組は興味深い。今後も続けてほしい。
- ・ 市立図書館の淵野辺小学校、大野北まちづくりセンター、大野北公民館と共催した取組は地域の取組として興味深い。
- ・ 市立図書館の学生ボランティアや学生団体との連携は、未来の図書館職員となりうる人材の育成、読書ファンの拡大をも担う興味深いものだった。

■相模大野図書館

- ・ 相模大野図書館の新規登録者数が前年度を上回ったことは評価できる。
- ・ 「朗読と音楽を楽しむつどい」が盛況だったとのこと。こうしたイベントをもっと開催して欲しい。

■橋本図書館

- ・ 図書館でのイベントを企業や商業施設とコラボして行った中で、商業施設でのポイントの獲得などが設定されて成果が見られた報告があった。日常の図書館利用にも、「図書館利用週間」と称して、そのようなポイント獲得などの利点を設けるなど、市民にとって魅力ある企画を設定するのはいかがか。
- ・ 職員の対応やアクセスが良いことが利用者からの言葉にあった。図書館職員の皆さまの日頃の努力を実感することができた。

■全館

- ・ 各図書館の自己点検・評価の件についての(2)主な取り組みの実施状況を見比べてみると各図書館の地域性や利用者に合わせていることは評価できる。でもその中で相模大野図書館では、定例のお話会の結果で、前年比 80 人減について、今後周知方法や内容の工夫していきたい。とありました。現実 2 歳～3 歳はほとんど保育園に育児休暇を 1 年過ごしたら次の段階へ令和は普通です。数字ばかりの結果の催し物の評価ではなく、ライフスタイルなどを考慮していけな

いかと思うため評価のとらえ方を時代背景とリンクしていないので評価できない。市立図書館は市のシティプロモーション戦略や、シビックプライドなどの文言から市が推しているところに沿っているので無理がなく統一感を感じられました。

橋本図書館も（SIC）と連携し 154 冊を受け入れは誰のためなのか？来館者の多くは週に 3～4 回が全体の 10%占めているという結果がありリピート率が高いと評価できて満足度につながっていると思います。ミウイと連携しどの年代をターゲットであるのか？その足を運んだ方たちは満足する蔵書が準備できたのか数字が知りたい。

また気になるのは、橋本在住の松橋利光さんの紹介の仕方に最大限に魅力が伝えられるような取り組みだったのかと思いました。これは図書館挙げての取り組みのようですが、たくさんの面白い視点で図鑑などに掲載がある方ですが子ども向けでしたが、写真の説明は高い位置にあったと思いました。大人も魅了と表記は全体意見でしたか？個人の自己評価に感じてしまいました。子どもが喜んで借りたのか？新規登録に結び付いたかなどの結果が知りたい。

(5) その他（全体に関する意見等）

- ・ 読書が好きな児童生徒が増えるよう、学校図書館の利用も充実させたい。現状として中学生は自由時間が少なく、教育課程の工夫が必要である。
- ・ 各種学校との連携による電子書籍サービスの小学生利用者数の割合が高く驚いた。自身は一市民として、電子と聞くと心理的にハードルが高くなってしまいうこともあり、利用のための簡単な講座や案内があれば良いと思う。
- ・ コロナ禍に伴う図書館事業の停滞も一巡し、平時の図書館評価を行える状況となっている。評価や様々な意見を踏まえ、より進化するチャンスの時期にきている。諸課題を改善の為に小槌ととらえ、各図書館には頑張ってもらいたいと考える。
- ・ どの図書館も、様々なイベントを企画して興味深い内容、魅力的な内容が、来場者数につながった事を評価できる。
- ・ 全体を通して、地域の学校・大学・公共施設・財団・企業などとの連携する取り組みが評価できた。
- ・ 利用者アンケートの問 4 で、「8 職員の知識・対応」が重要（重要、やや重要）であるという回答が 79.1%であるのに対し、満足度（満足、やや満足）が 76.1%でほぼ同等であることから、図書館職員の対応が市民から支持されており、概ね評価できる。
- ・ 同じく、利用者アンケートの問 4 で、10 から 21 の各設問に関して、その重要度を尋ねた結果、「どちらとも言えない」が一定数いるものの、どちらかと言えば重要と回答する人の割合が高かった。他方、満足度では「わからない」を選択する人が多く、サービスの種類にもよるが、サービスの周知が十分でないことが窺われる。各種情報サービス、利用者別サービスが列挙されているが、これらの利用者の実態を把握し、適切なサービスにつなげてもらいたい。
- ・ 市域の広い相模原市にとって、公民館図書室の存在は大きい。利用者アンケートの問 6 で、本の品ぞろえに対する不満（不満、やや不満）が一定程度高くなることはいたしかたないが、それを補うように「本等を予約してから提供するまでの時間」「公民館図書室職員の対応」「公民館等図書室へのアクセス」にかかる満足度が高く、また問 7 の総合的な評価も高いことから、適切なサービスが展開されているものと推察される。ただし、これに満足することなく、中央図書館機能の検討を含め、より一層

利便性を高めるよう努めてもらいたい。

- ・ 利用者アンケートの自由記述欄では、身近な図書館を求めるのと同時に、飲食、学習環境など、快適な図書館も期待されている。他自治体の図書館が話題に取り上げられたり、体験する利用者が増えていることも要因の1つであるかもしれない。それに応える方法は多様であると思われ、相模原市ならではの図書館運営を心掛けてもらいたい。
- ・ 事業には予算があればこそです。本当に必要なところにやりくり、柔軟にライフスタイルに合わせていかないと相模原市の魅力は正直感じませんでした。根拠を出すためのプロセスにストーリー性が評価できる図書館の取り組みはありません。これからの市立図書館の在り方には、職員頼みにすることでよいのか課題に感じました。
- ・ 図書離れの傾向は学校でも課題となっているので、今後もその対応について共有していきたい。
- ・ 自分は子育て世代の団体に仕事は福祉サービスの立場にいますので、意見は子どもが関わる場面に意見をさせていただきました。少し厳しいですが求められているリサーチは必要です。利用している方に楽しめるのか、どの世代が周辺に多くて老人が新聞広げて機嫌よさそうに時間つぶしていても大歓迎です。
若い方はどんどん遠くにも移動ができます。親子は移動には、オムツや授乳、午睡と老人と同じように身近な場所に図書館があればいいと思います。
正直障害者に関しては、車いす対応や点字など対象がありますが、ざっくり一人でも安心して図書館が利用できる方をイメージにエレベーターがわかりやすかったり、通路確保できているのか等の公共的な配慮があるのか優しいポイントですね。
精神疾患や発達障害児は職員の対応が難しいと思います。利用する方たちに満足度に関してご意見を頂いたり市で進める方針を合わせていくことがいいのかと思いました。
- ・ 今回相模大野、橋本図書館が市立図書館、相武台分館より相対的に評価が高かったように認識している。やはり施設として現代の図書館として最低限必要なスペックというものが存在し、残念ながら特に市立図書館については施設の老朽化がさらなる図書館サービスの展開を図る際の制約になっていると判断せざるを得ない。
近年の建設コストの増大は大きく建設に困難を抱えていることは承知しているが、このまま制約がある中でいくら職員が努力したとしても、周辺自治体との差は拡大するばかりである。可能な限り早期に新市立図書館が建設されることを強く願うものである。